

平成18(2006)年度

# 小平市コミュニティタクシー運行調査

## 報 告 書

平成19(2007)年3月

小 平 市

# 目 次

## 1. 調査の目的と方法

(1) 調査の目的	3
(2) 調査の内容	4
(3) 調査の方法	5

## 2. 大沼町・花小金井地域の地域・交通特性の概要

(1) 地域の概要	9
(2) 高齢者の居住状況	10
(3) 地域・生活利便施設	14
(4) 交通状況	17

## 3. 大沼町・花小金井地域の生活行動と公共交通

～住民ニーズ調査等に見る問題点・改善要望～

(1) 実態調査の概要	23
(2) 地域共通の生活行動と公共交通	23
(3) 大沼町・花小金井地域の地区区分の考え方と地域・交通特性	29
(4) 地区別に見る生活行動と公共交通	32

## 4. 大沼町・花小金井地域の公共交通の改善課題と対応方針

(1) 小平市の公共交通施策の考え方	45
(2) 路線バスの改善課題と対応策の検討	46
(3) 公共交通の利便性の検討	50
(4) 公共交通の利便性向上のための施策の検討	52
(5) 他都市のコミュニティ交通システム事例の調査概要	54

## 1. 調査の目的と方法

## (1) 調査の目的

### ①小平市の取り組みとその経緯

小平市では、平成16(2004)年1月にコミュニティバス(にじバス)の試行運行を開始し、平成18(2006)年3月には、市内における交通体系のあり方について、「小平市総合的な交通体系のあり方懇談会(あり方懇談会)」から次の5つの提案を受けている。

- 1) 「青梅街道幹線軸」について
- 2) 「青梅街道幹線軸」へのアクセスについて
- 3) 運賃体系について
- 4) 市民が支える公共交通をめざして
- 5) 「にじバス」の路線見直しについて

この「あり方懇談会」からの提案や各地域の実情・交通課題、市民からの意見などを踏まえて、市の基本的な考え方(案)を以下のようにまとめている。

- 1) 地域ごとのニーズに基づくコンパクトな地域内の生活交通とこれをつなぐ幹線交通を充実する
  - 実現のための具体的方針として、コンパクトな地域内の生活交通を確保するために、コミュニティタクシーの導入を支援する(※1、2)。
- 2) 「にじバス」の試行運行は平成19(2007)年3月で終了し、平成19年4月から新たな試行運行を開始する(実際の開始時期は、平成19年5月の予定)
  - 「にじバス」の運行ルート・料金を見直し、新たな試行運行を行う。

また、「小平市都市計画マスタープラン」(平成19/2007年3月)では、公共交通網の整備について以下のとおり目標を設定している。

今後より一層の高齢社会の到来に伴い、車や自転車を利用することを困難に感じる人が増えていくことが予想されます。また、本市の分散型の拠点的機能の立地状況などに基づき、市内の移動手段としての公共交通の役割は、ますます重要なものとなり、また、公共交通の利用増大は、自動車交通の抑制にもつながるため、地球環境にやさしいまちづくりへの貢献も期待されます。

しかし、市内には鉄道駅の数が多いが、市内での移動は必ずしも便利とはいえないため、それを補う他の公共交通機関とのネットワークの充実が求められます。

#### ①既存バス路線の充実

市内を通るバス路線については、路線延長や運行本数を増やしてほしいという共通的な市民ニーズがあり、バス事業者への要請や協議を行っていきます。また、幹線道路沿いには、公共施設、病院、駅などの交通結節点が集中していることから、各地域内の生活交通との乗り継ぎをよくすることで交通利便性の向上を図ります。

#### ②地域で支える生活交通の充実

まちづくりの一つとして、それぞれの地域でそこに住む人々が支えるという視点で、「にじバス」の試行運行や、最寄駅へのアクセスや買い物等を目的とした商店街へのアクセスなど、地域ごとのニーズに応じたコンパクトな地域内交通を支援する取り組みをとおして、充実を図っていきます。

#### ③鉄道と道路の立体交差化の検討

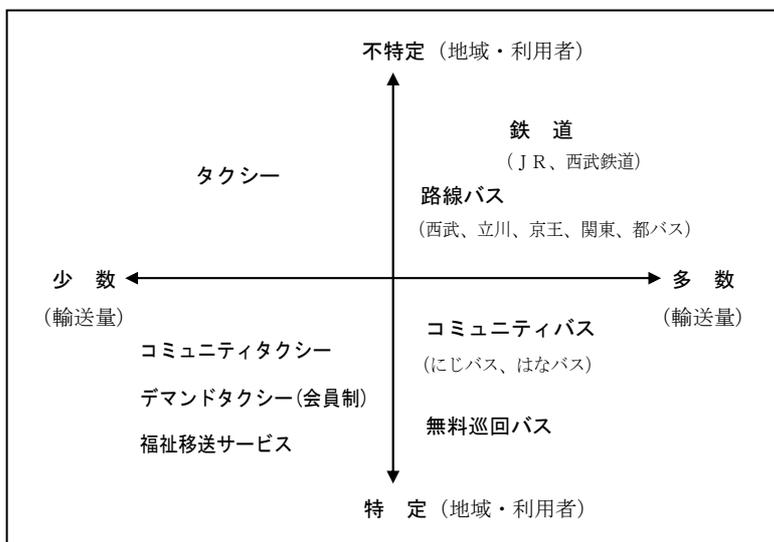
地域を分断している鉄道の連続立体交差事業の具体化へ向けては、多摩北部都市広域圏協議会の構成市のひとつとして、国、東京都及び鉄道事業者に対して、他の構成市とともに、その実現について要請していきます。

- ※1. 「地域内の生活交通」は、ある一定の地域や利用者に買物や通院などの日常生活の足を担う交通手段と位置付けることができる。このうち比較的輸送量の多い交通手段としては、小平市「にじバス」や西東京市「はなバス」などのコミュニティバスがある。利用者数が少ないことや道路状況などの制約からバス車両での運行が難しい場合には、タクシー車両を使用したコミュニティタクシーやデマンド交通などで対応する。小平市は、コミュニティタクシーは地域内の生活交通にふさわしい形態と考えている。

**[コミュニティタクシーの特色]**

- 最寄り駅へのアクセスや買い物などを目的とした施設へのアクセスというコンパクトな生活交通を確保できる。
- 高齢者や子育て中の方などの生活の足が確保できる。
- コミュニティタクシーはワンボックスカーを使用するため、「にじバス」車両では通れない狭い道も通行可能である。また、車両購入費も低額である。

- ※2. 一方、地域や利用対象者を特定しない一般の公共交通手段としては、輸送量の多い鉄道や路線バス、輸送量の少ないタクシーなどがある。



**②本調査の目的**

本調査では、「大沼町・花小金井地域」における地域内の生活交通を確保するために、地域の公共交通の現状・問題点や移動ニーズを把握・分析し、公共交通の利便性向上のための対応方針やコミュニティタクシー導入の可能性を検討した。

**(2) 調査の内容**

**①大沼町・花小金井地域の公共交通の現状・問題点の分析と課題の整理**

- 既存資料や公共交通の利用状況・現地踏査、交通事業者ヒヤリング等の調査によって現状、問題点を把握した。

**②大沼町・花小金井地域住民のニーズ(外出への切実な願いなど)と需要特性の把握**

- 地域住民グループヒヤリング調査によって、高齢者を初めとする移動制約者の外出へのニーズ(外出への切実な願いや移動の際の不便さ)などを把握した。
- 大沼町・花小金井地域住民へのアンケート調査によって、住民の買物・通院先や移動手段などの特性を把握した。

### ③大沼町・花小金井地域の公共交通の改善課題と対応方針の検討

- 大沼町・花小金井地域の地域・交通特性や住民ニーズを踏まえて、公共交通の改善課題を整理した。
- 公共交通の改善課題への対応方針を小平市の「公共交通に対する基本的な考え方」との整合を図って整理した。
- 公共交通の利便性向上のための対応方針・施策を検討し、大沼町・花小金井地域へのコミュニティタクシー導入のための方針を作成した。

## (3) 調査の方法

### ①既存資料の収集・整理

既存の資料・データを収集・整理し、分析を行って、公共交通(バスと鉄道)に関わる現状と問題点などを把握した。

- 地域特性(地勢、地形、産業、人口・高齢化、通勤・通学状況等)
- 地域施設(公共公益施設、病院、商店街・商業施設、集客施設、事業所等)
- 地域の交通状況(免許保有率、交通事故状況、道路状況、鉄道、路線バス、タクシー等)

### ②現地踏査

- 大沼町・花小金井地域の地域・交通特性、地域施設の実情や路線バスの運行・利用状況などを視察し、バス交通の現状と問題点を把握した。
- 現地踏査の結果を、交通事業者ヒヤリング調査、住民グループヒヤリング調査、住民アンケート調査の実施等に活用した。

### ③地域住民グループヒヤリング調査

#### ■1. 調査の内容

- 自分の移動手段を持っていない・持たない高齢者などの移動制約者の日常生活行動や外出の壁、移動に対する切実な願いなどの本音の意見を個人(参加者本人、家族・知人の利用体験)から具体的に聞き取った。
- 公共交通(鉄道、バス、タクシー)の利用状況と必要性、運行システムの問題点や改善要望等の意見を把握した。
- コミュニティタクシーに対する意見を聞き取った。

#### ■2. 調査対象者：高齢女性を主な対象とした。

#### ■3. 調査グループ(4グループ/30人)

- 花小金井一・二・六丁目地域高齢者グループ(7名)
- 花小金井三・四・五丁目地域高齢者グループ(6名)
- 大沼町二丁目、美園町三丁目地域高齢者グループ(9名)
- 大沼町一・二丁目地域高齢者グループ(8名)

#### ④大沼町・花小金井地域住民アンケート調査

##### ■1. 調査の内容

- 住民の日常の移動の交通手段や外出先(目的)、移動困難性、バス交通の利用状況などの現状を把握した。
- コミュニティタクシーに対する意見を把握した。

##### ■2. 調査対象者

- 大沼町・花小金井地域の満65歳以上の高齢女性を対象とし、住民基本台帳から無作為に1,020人を抽出した。(回収数：626)

#### ⑤交通事業者ヒヤリング調査

##### ■1. 調査の内容

- バス・タクシー交通における交通事業者の抱える現状と問題点などを把握した。
- バス交通の活性化に向けた具体的な方策案や、コミュニティタクシー運行に対する意見・提案などを聞き取った。

##### ■2. ヒヤリング対象

- バス事業者：西武バス(株)、立川バス(株)
- タクシー・特定旅客運送事業者：美玉交通(有)、東京昭和運輸(株)

#### ⑥他都市におけるコミュニティ交通の視察・資料調査

##### ■1. コミュニティタクシーの視察調査

- 千代田区「風ぐるま」、三鷹市「みたかバスネット」、葛飾区「さくら」

##### ■2. 他都市におけるNPO等による運行事例の資料調査

- コミュニティバス：四日市市「生活バスよっかいち」、京都市「醍醐コミュニティバス」、神戸市「住吉台くるくるバス」、土浦市「キララちゃん」
- 乗合タクシー：石巻市「いない号」、雫石町「あねっこバス」

#### [調査担当者]

- 小平市 都市開発部 理事 出口拓隆  
公共交通担当 佐々木貴(主査)

#### ■コンサルタント

(株)地域科学研究会 緑川富美雄／石田洋平／田瀬もも

## 2. 大沼町・花小金井地域の地域・交通特性の概要

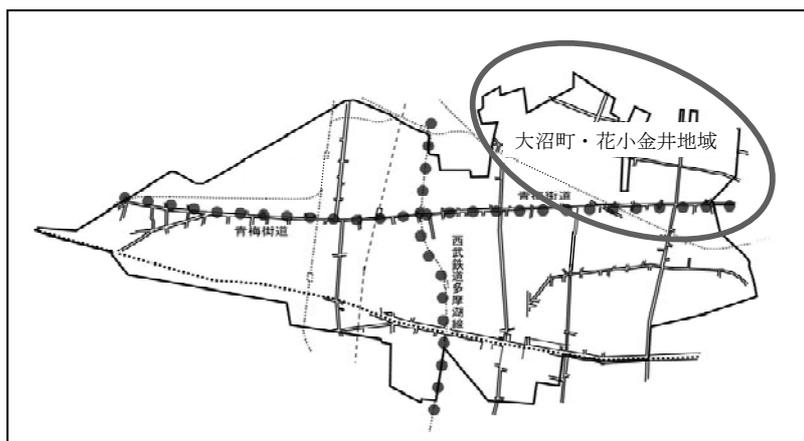
## (1) 地域の概要

※出典名のないデータは「小平市統計書 平成17年版」

### ①位置・面積

- 1. 位置：大沼町・花小金井地域は、市の北東部に位置している。北側は東久留米市、東側は西東京市、西側の一部は東村山市と接している。地域の南側にある西武新宿線の線路と青梅街道によって、市内の他地区と区分されている。

[大沼町・花小金井地域の位置]



- 2. 面積：3.63 km<sup>2</sup>

- 小平市全域の面積(20.46km<sup>2</sup>)の17.8%を占めている。

### ②人口と高齢化

- 1. 人口：28,856人（平成18/2006年12月1日現在）

世帯数：12,322（世帯人員：2.28人）

- 小平市全体の人口(177,589人)の16.2%を占めている。
- 人口の推移を見ると、平成9(1997)年から平成14(2002)年が2,995人(13.4%)、平成14(2002)年から平成18(2006)年が3,491人(13.8%)増加している。
- 小平市全体の人口が微増傾向にあるのに対して、大沼町・花小金井地域の人口は大きく増え続けており、小平市人口に占める割合が大きくなっている。
- 世帯数は増加しているが、世帯人員は減少している。

- 2. 高齢者数：5,292人（平成18/2006年12月1日現在）

高齢化率：18.8%

- 小平市全体の高齢者数(32,973人)の16.0%を占めている。
- 高齢化率は小平市全体(18.6%)とほぼ同程度である。
- 高齢化の推移を見ると、平成9(1997)年に比べて高齢者数は2,159人(約7割)増えている。高齢化率は、4.8ポイントの増加である。

※WHO(世界保健機構)では、65歳以上の高齢化率が7%以上を高齢化社会、14%以上を高齡社会と定義している。

■3. 人口密度：7,949人/km<sup>2</sup>

- 小平市全体の人口密度8,680人/km<sup>2</sup>と比べると731人少ない。

[小平市、大沼町・花小金井地域の面積・人口・高齢者数] (平成18/2006年12月1日現在)

	小平市	大沼町・花小金井地域
面積	20.46 km <sup>2</sup>	3.63 km <sup>2</sup>
人口	177,589人	28,856人
世帯数(人員)	79,069(2.25人)	12,322(2.28人)
高齢者数	32,973人	5,292人
高齢化率	18.6%	18.8%

[大沼町・花小金井地域の人口・高齢者数の推移]

	平成9(1997)年1月1日	平成14(2002)年1月1日	平成18(2006)年12月1日
人口	22,370人	25,365人	28,856人(29.0%増/97年比)
世帯数(人員)	9,233(2.42人)	10,675(2.38人)	12,322(2.28人)
高齢者数	3,133人	4,180人	5,292人
高齢化率	14.0%	16.5%	18.8%

## (2) 高齢者の居住状況

### ①地区別の人口 (平成18/2006年12月1日現在)

#### ■1. 人口

- 人口の多い地区は、大沼町一丁目(5,373人)、大沼町二丁目(4,732人)、花小金井五丁目(3,939人)の順である。

#### ■2. 世帯人員

- 大沼町一・二丁目では、一世帯あたりの人員が2.5人以上と小平市平均(2.25人)と比べて多い。
- 美園町二・三丁目、花小金井一・六丁目では、世帯人員が2.0人以下と小平市平均より下回っている。

### ②地区別の高齢化状況 (平成18/2006年12月1日現在)

#### ■1. 高齢者数

- 高齢者数の多い地区は、大沼町一丁目(1,109人)、花小金井五丁目(868人)、大沼町二丁目(703人)の順であり、人口の多い地区とほぼ一致している。
- 男女別の高齢者数を見ると、全ての地区で高齢女性が多い。

#### ■2. 高齢化率

- 高齢化率の高い地区は、美園町三丁目(29.1%)、花小金井五丁目(22.0%)、花小金

井三丁目(21.3%)、大沼一丁目(20.6%)の順である。これらの地区は、大沼町・花小金井地域の平均(18.9%)及び小平市の平均(18.6%)を超えている。

- 女性の高齢化率を見ると、美園町三丁目(33.5%)と花小金井五丁目(25.0%)が非常に高い。
- 大沼町二丁目(14.9%)、美園町二丁目(16.0%)、花小金井一丁目(16.0%)、花小金井二丁目(14.9%)では、高齢化率が比較的低い。

※高齢者を対象としているのは、「高齢者が利用(移動)しやすければ、市民はもっと便利になる」というユニバーサルデザインの考え方からで、多くのコミュニティ交通のシステム開発の基本となっている。

[町丁別の人口・高齢者数(率)] (平成18/2006年12月1日)

	人 口			世帯数 (人員)	高齢者数(高齢化率)		
	総数	男	女		総数	男	女
大沼町一	5,373人	2,511人	2,862人	2,132 (2.52人)	1,109人 (20.6%)	452人 (18.0%)	657人 (23.0%)
大沼町二	4,732人	2,397人	2,335人	1,834 (2.58人)	703人 (14.9%)	319人 (13.3%)	384人 (16.4%)
美園町二	1,059人	539人	520人	565 (1.87人)	169人 (16.0%)	76人 (14.1%)	93人 (17.9%)
美園町三	1,481人	708人	773人	779 (1.90人)	431人 (29.1%)	172人 (24.3%)	259人 (33.5%)
花小金井一	2,689人	1,329人	1,360人	1,386 (1.94人)	431人 (16.0%)	180人 (13.5%)	251人 (18.5%)
花小金井二	2,491人	1,260人	1,231人	1,089 (2.29人)	370人 (14.9%)	163人 (12.9%)	207人 (16.8%)
花小金井三	2,180人	1,034人	1,146人	929 (2.35人)	465人 (21.3%)	188人 (18.2%)	277人 (24.2%)
花小金井四	2,261人	1,113人	1,148人	934 (2.42人)	422人 (18.7%)	175人 (15.7%)	247人 (21.5%)
花小金井五	3,939人	2,023人	1,916人	1,726 (2.28人)	868人 (22.0%)	389人 (19.2%)	479人 (25.0%)
花小金井六 (※)	1,887人	947人	940人	948 (1.99人)	324人 (17.2%)	139人 (14.7%)	185人 (19.7%)
合 計	28,092人	13,861人	14,231人	12,322 (2.28人)	5,292人 (18.8%)	2,253人 (16.2%)	3,039人 (21.4%)
小平市計	177,589人	88,635人	88,954人	79,069 (2.25人)	32,973人 (18.6%)	14,350人 (16.2%)	18,623人 (21.0%)

※花小金井六丁目は西武新宿線の北側のみ

### ③都営住宅・団地・公団住宅等

小平市内には、都営住宅などの集合住宅用地が数多く立地している。大沼町・花小金井地域には、次のような都営住宅などがある。

#### ■1. 都営大沼町一丁目アパート（858戸／23棟／駐車場431台）

- 小平市内で最も大規模な都営住宅団地である。自治会は5つに分かれている。
- 高齢者用住宅は55戸である。
- 敷地内には、集会所、大沼公民館、大沼図書館が併設されている。
- 花小金井駅と小平駅北口を結ぶバス路線が東京街道を運行していたが、廃止された。
- 新小金井街道のアンダーパスが完成したことから、国分寺駅北口行の路線（4系統）が団地内まで運行を開始した（大沼公民館前折り返し）。うち2系統は花小金井駅を経由している。

#### ■2. 都営大沼町一丁目第3アパート（228戸／3棟／駐車場114台）

- 西武新宿線沿いに位置する。
- 高齢者用住宅は21戸である。

#### ■3. 都営大沼町二丁目アパート（65戸／2棟／駐車場31台）

- 東京街道の北側に位置する。
- 高齢者用住宅は0戸である。

#### ■4. 都営花小金井四丁目アパート（204戸／5棟／駐車場104台）

- 小平第十一小学校の東側に位置する。
- 高齢者用住宅が40戸と全戸数の2割近くを占めている。
- さわやか館（高齢者施設）が併設されている。高齢者の趣味や会合に利用できる多目的ホールや和室、介助入浴室等の設備がある。

#### ■5. 野中台第一・二団地（約155戸／花小金井三丁目）

- 新青梅街道北側の東久留米市との市境に位置する。
- 戸建住宅が密集して並んでいる。居住年数が長く、駐車場のない家が目立つ。
- 団地内の道幅は狭く、乗用車がなんとかすれ違える程度である。団地の北側には滝山団地へ続く道路が新青梅街道と平行してあるが、通過交通防止のために柵や看板が設置されており、通り抜けは出来ない。

#### ■6. 第一住宅花小金井団地（約195戸）

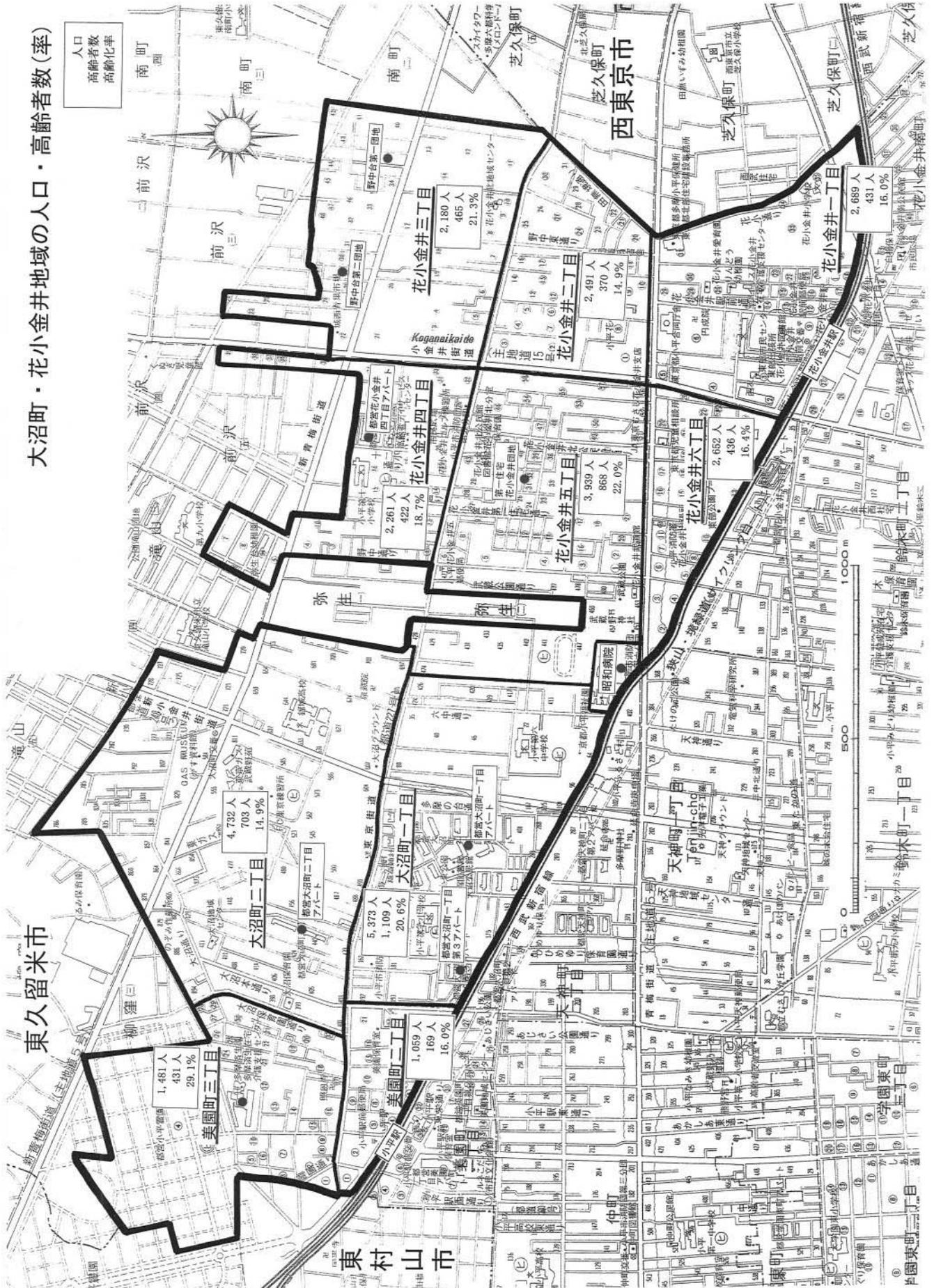
- 一区画40～50坪の戸建住宅が密集している。居住年数が長い人が多い。
- 団地内の道幅は狭く、比較的広い道路でも乗用車がなんとかすれ違える程度である。道路の両側はU字溝であり、舗装も老朽化している。

#### ■7. ロイヤルパーク（277戸／花小金井駅北口）

- UR都市機構による花小金井駅北口地区駅前再生プロジェクトの大規模住宅である。

# 大沼町・花小金井地域の人口・高齢者数(率)

人口  
高齢者数  
高齢化率



### (3) 地域・生活利便施設

#### ①商業施設

##### ■1. 小平駅周辺

- 北口にスーパーが1店、南口に大型商業店舗が1店ある。
- 大型商業店舗の営業時間は、午前9:00～深夜1:00である。

##### ■2. 花小金井駅周辺

- 北口には、大型商業店舗が2店、スーパーが1店、コンビニなどがある。また、飲食店や書店、ドラッグストアなども集積している。
- 南口には、スーパー、コンビニがある。
- 北口の大型商業店舗のうち、1店の営業時間は24時間、1店は9:00～23:00である。

##### ■4. 滝山団地周辺（東久留米市）

- 商店街があり、大型商業店舗が1店、飲食店、個人商店などがある。
- 大型商業店舗内には、食料品以外に、書店、CDショップ、飲食店などがある。

##### ■5. その他

- 新青梅街道沿いに大型スーパーがある。
- 東京街道沿いには野菜の自家販売や、ホームセンターなどがある。

#### ②医療施設

##### ■1. 公立昭和病院（予約制／外来の初診受付時間は8:30～11:00）

- 診療科目：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、口腔外科など21科目

##### ■2. 小平駅周辺の医院クリニック

- 小平駅南口周辺とあかしあ通り沿いに、医院・クリニックが多く集まっている。
- 整形外科、外科、リハビリテーション科、内科などがある。

##### ■3. 花小金井駅周辺の医院クリニック

- 花小金井駅周辺には、医院・クリニックが多く集まっている。特に南口周辺には、歯科、耳鼻科などが多い。

##### ■4. 地域内の医院・クリニック

- 大沼町と美園町の地域には医院・クリニックが少ない。美園町三丁目に多摩済生病院が、東京街道沿いに耳鼻咽喉科等のクリニックがある。
- 花小金井の地域内には、東京街道沿いや小金井街道沿いに医院・クリニックがある。内科、外科、小児科、肛門科、放射線科、リハビリテーション科などがある。

### ③公共・公益施設

#### ■1. 公民館（2ヶ所）

##### □1. 大沼公民館

- 利用者数：44,473人(平成17/2005年度)

##### □2. 花小金井北公民館

- 利用者数：15,772人(平成17/2005年度)
- 和室、洋室、ホールなどがあり、午前、午後、夜間の3つの時間帯ごとに借りることができる。

#### ■2. 地域センター（2ヶ所）

##### □1. 大沼地域センター

- 利用時間：9:00～22:00(休館日：第1・3火曜日)
- 利用者数：36,459人(平成17/2005年度)
- 地域センターの利用時間は午前9:00～12:00、午後13:00～17:00、夜間18:00～22:00の3つに分けられている。

##### □2. 花小金井北地域センター

- 利用時間：9:00～22:00(休館日：第1・3火曜日)
- 利用者数：38,769人(平成17/2005年度)

#### ■3. 東部市民センター

- 市役所の窓口業務や証明書自動発行機、市民活動に使用できる和室・洋室、図書館などがある。

#### ■4. 図書館（3箇所）

- 大沼図書館(大沼公民館内)、花小金井図書館(東部市民センター内)、花小金井北分室(花小金井北公民館内)の3箇所がある。
- 開館時間：10:00～17:00(火・水は19:00まで)
- 休館日：金曜日

#### ■5. 福祉施設

- 都営花小金井四丁目アパートに併設して「さわやか館」がある。高齢者の趣味や会合に利用できる多目的ホールや和室、介助入浴室等の設備がある。

#### ■6. 金融機関

##### □1. 小平駅前

- 郵便局：小平駅前郵便局（北口）
- 銀行：東京スター銀行、青梅信用金庫（南口）

##### □2. 花小金井駅前

- 郵便局：花小金井駅前郵便局
- 銀行：りそな銀行、三井住友銀行

### □3. その他地域内

- 郵便局：小平花小金井五郵便局（花小金井五丁目）
- 銀行：西武信用金庫（花小金井四丁目／小金井街道沿い）、J A東京むさし花小金井支店（花小金井五丁目）

## ■7. 集客施設

### □1. F C東京グラウンド(大沼町二丁目)

- サッカーJリーグのF C東京のホームグラウンド。東京ガスのファミリーセンター(保養施設)が隣接している。
- 公開練習や練習試合を見学するために、多くのファンが訪れているようである。
- 交通手段は国分寺駅、花小金井駅からのバス利用やマイカーが考えられる(来場者専用の駐車場はないようである)。小平駅からの徒歩は遠い。

### □2. ガスミュージアム(大沼町二丁目)

- 開館時間：10:00～17:00(月曜休館)
- 東京ガスの資料展示・見学施設。
- 新小金井街道沿いに「ガスミュージアム入口」バス停がある。

## (4) 交通状況

### ① 鉄 道：西武新宿線

大沼町・花小金井地域には、西武新宿線の小平駅と花小金井駅がある。全7駅の利用者の約半数を小平駅と花小金井駅で占めている。

[駅別一日平均乗降車人員(人)]

年次	花小金井駅	小平駅	一橋学園駅	小川駅	鷹の台駅	青梅街道駅	新小平駅	計
H12年	52,944	35,171	21,720	26,271	27,145	6,253	9,326	178,830
H13年	53,782	35,371	21,136	26,446	26,899	6,294	9,408	179,336
H14年	53,577	35,417	20,827	26,194	26,579	6,199	9,644	178,437
H15年	53,641	36,305	21,123	26,398	26,543	6,290	10,044	180,344
H16年	50,962 (28.6%)	36,261 (20.3%)	21,234 (11.9%)	26,832 (15.0%)	26,418 (14.8%)	6,430 (3.6%)	10,274 (5.8%)	178,411 (100%)

※1. 花小金井駅の乗降車人員が、平成15年から平成16年にかけて減少しているのは、花小金井駅前にあった拓殖大学付属第一高校が移転したことが影響していると考えられる。

※2. JR新小平駅は乗車のみ的人员である。

### ② バス交通

大沼町・花小金井地域には、4事業者(西武バス、立川バス、関東バス、都営バス)・16系統の路線バスが通っている。

[大沼町・花小金井地域を運行する路線バスの概要] (平成19/2007年1月現在)

	運行ルート	事業者
①	花小金井駅北口～田無駅入口～吉祥寺駅	西武バス
②	花小金井駅～(小金井街道)～滝山団地～清瀬駅南口(下里団地経由)	西武バス
③	花小金井駅～花小金井五～滝山団地～久留米西団地	西武バス
④	花小金井駅～花小金井五～滝山営業所	西武バス
⑤	武蔵小金井駅～花小金井五～滝山営業所	西武バス
⑥	花小金井駅北口～(小金井街道)～滝山団地(営業所)	西武バス
⑦	武蔵小金井駅～花小金井駅入口(小金井街道)～(東京街道)～滝山団地～東久留米駅西口	西武バス
⑧	武蔵小金井駅～花小金井駅入口(小金井街道)～清瀬駅南口	西武バス
⑨	武蔵小金井駅～花小金井駅入口(小金井街道)～東久留米駅西口	西武バス
⑩	武蔵小金井駅～花小金井駅入口(小金井街道)～久留米西団地	西武バス
⑪	花小金井駅南口～(東京街道)～多摩六都科学館	関東バス
⑫	国分寺駅北口～花小金井駅南口～昭和病院	立川バス
⑬	大沼団地～花小金井駅北口	立川バス
⑭	大沼団地～花小金井駅～国分寺駅北口(鈴木街道経由)	立川バス
⑮	大沼団地～国分寺駅北口	立川バス
⑯	田無駅～(青梅街道)～青梅車庫	都営バス

### ③タクシー・貸切バス

#### ■1. 美玉交通(有)

- 営業エリア：小平市内中心(北多摩交通圏タクシー組合には加盟している)
- 車両台数：60台(乗用車両)
- ドライバー：168人(平均年齢57.8才)
- その他の業務：民間車検場、一般乗合の運行管理者資格取得

#### ■2. 東京昭和運輸(株)

- 事業形態：特定旅客運送(福祉タクシー)事業
  - 一般区域自動車貨物運送事業者として設立。物流、引越、倉庫管理業等を展開。
  - 平成12(2000)年12月に福祉タクシー事業(限定)免許を取得。
  - (財)全国福祉輸送サービス協会に加入。
- 車両台数：福祉タクシー車両5台(うち2台はリフト付ワゴンタイプ)

### ④道路状況

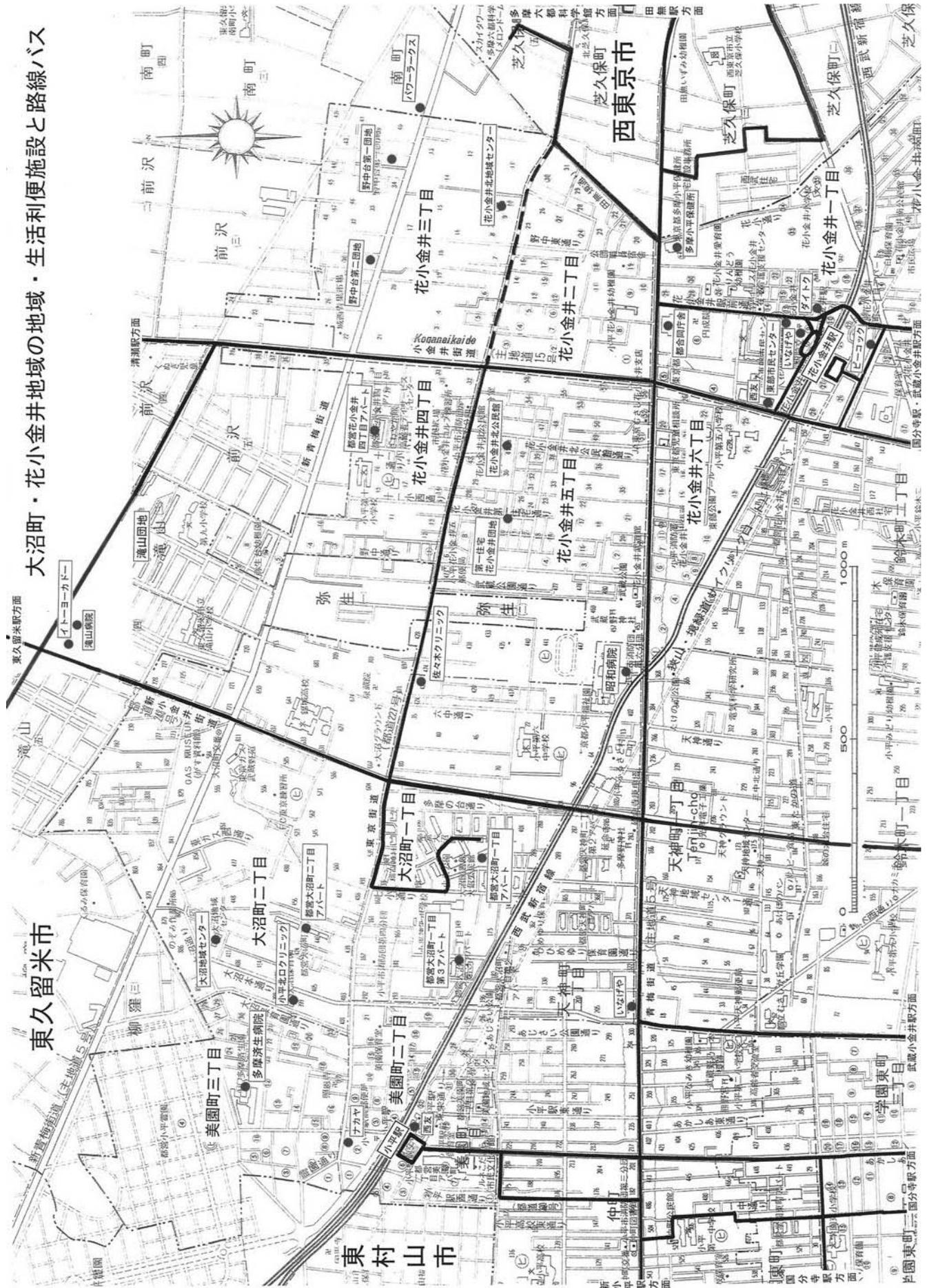
#### ■1. 幹線道路

- 地域を通る幹線道路は、南北には小金井街道と新小金井街道、東西には青梅街道と東京街道と新青梅街道がある。
- 新小金井街道には、西武新宿線を越えるアンダーパスができた。そのため、青梅街道との交差点での右折車が減り、青梅街道の踏切の影響による渋滞がかなり緩和されている。
- 新青梅街道は、片側2車線の幹線道路で交通量がかなり多い。

#### ■2. 生活道路

- 住宅地内の生活道路は、幅員が狭くすれ違いがしにくい(できない)道路が多い。
- 生活道路は行き止まりになっているものが多く、住宅地内を通り抜けられる道路が少ない。

大沼町・花小金井地域の地域・生活便利施設と路線バス



### 3. 大沼町・花小金井地域の生活行動と公共交通 ～住民ニーズ調査等に見る問題点・改善要望～

## (1) 実態調査の概要

### ■1. 住民グループヒヤリング調査の実施（4グループ）

- 実施日：平成19(2007)年1月29日、30日
- 対象者：女性30人(30歳代1名、40歳代1名、50歳代1名、60歳代10名、70歳代14名、80歳代3名)
- 居住地：美園町三丁目4名、大沼町一丁目7名、大沼町二丁目6名、花小金井一丁目2名、花小金井二丁目4名、花小金井三丁目2名、花小金井四丁目2名、花小金井五丁目2名、花小金井六丁目1名

### ■2. 日常の外出行動と交通手段に関するアンケート調査の実施

- 郵送日：平成19(2007)年3月7日
- 対象者：美園町・大沼町・花小金井地域に居住する高齢女性1,020人(全体3,039人の33.6%)を無作為に抽出した。
- 方法：アンケート票の配布・回収は、郵送(個人名宛)で行なった。
- 回収数：626票/回収率：61.4% (大沼町・花小金井地域の高齢女性の約2割)

### ■3. 交通事業者等ヒヤリング調査の実施

- 交通事業者：西武バス(株)、立川バス(株)、東京昭和運輸(株)、美玉交通(有) (平成19/2007年3月16日)
- コミュニティタクシー：千代田区「風ぐるま」、三鷹市「みたかバスネット」葛飾区「さくら」

## (2) 地域共通の生活行動と公共交通

### ①生活行動

#### a. 日常の外出行動

##### ■1. 外出目的 —— 買物、通院、駅周辺の順に多い

- 買物が85.3%と最も多く、次いで通院が68.4%、花小金井駅周辺が59.9%、国分寺や新宿等が40.3%である。公共施設の利用は、市役所周辺が33.2%、地域の公民館・地域センター32.1%である(住民アンケート調査/複数回答)。  
※市役所周辺：市役所、福祉会館、中央公民館、健康センターなど

##### ■2. 交通手段 —— 徒歩、自転車、徒歩と鉄道、徒歩とバスの順である

- 徒歩が55.0%と最も多く、次いで自転車が43.5%、徒歩と鉄道が32.9%、徒歩とバスが30.0%である(住民アンケート調査/複数回答)。
- 居住地別に見ると、大沼町一・二丁目では自転車の割合が、花小金井二・三・四丁目ではバスの割合が高くなっている(住民アンケート調査/複数回答)。

#### b. 買物

##### ■1. 買物の回数 —— ほぼ全員が週2～3回以上である

- 参加者のほぼ全員が週に2～3回以上買物に外出している(住民グループヒヤリング調査)。
- 「週に2～3回」が32.8%、「週に4～5回」が28.0%、「ほぼ毎日」が27.1%であり、合わせると87.9%となる。平均すると週に4.1回である(住民アンケート調査)。

##### ■2. 行き先 —— 花小金井駅・小平駅・滝山団地周辺が多いが、地区によって差がある

- 花小金井駅周辺が43.5%と最も多く、次いで小平駅周辺が27.2%、滝山団地周辺が11.2%である(住民アンケート調査)。

- 花小金井駅周辺へは当該地域全体から買物に出かけており、増加傾向にある。小平駅周辺へは美園町・大沼町からが多い(住民グループヒヤリング調査)。
- 地区によっては田無駅、天神町、新青梅街道沿いなどへも行っている。コンビニエンスストアや農家の自家販売、生協を利用している人もいる(住民グループヒヤリング調査)。

## c. 通院

### ■1. 約5割の人が定期的(月1回以上)に通院している

- 定期的(月に1回以上)に通院している人は55.4%、年に数回は15.5%、通院していないは12.5%である(住民アンケート調査)。
- 医者にかかっていない人や定期的に通院していない人(数ヶ月に1回/風邪の時など)が30人中12人(4割)いた(住民グループヒヤリング調査)。
- 通院先は、昭和病院が22.8%、花小金井駅周辺が20.2%、近くの医院が19.0%、小平駅南口周辺が12.4%、多摩済生病院が8.1%と分散している(住民アンケート調査)。

### ■2. 定期的に通院している人は、月1～2回の通院である

- 月に1回程度が49.6%、月に2～3回が25.9%である。平均すると月に2.1回である。年齢別にみると65～69歳に比べて70歳以上の方が通院回数が多い(住民アンケート調査)。
- 月に数回通院する人が12人いた(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. 整形外科や整骨院に通っている人は、週1回以上通院している

- 整形外科へ通っている人(5人)は、週1～3回行っている(住民グループヒヤリング調査)。

### ■4. 昭和病院は、市域を越えて広範囲から利用されている

- 通院者の居住地は、小平市内が約37.4%、その他の北多摩地域の7市が51.9%と、市外からの通院が多い(平成17年度 外来患者統計年度報)。
- 利用理由を見ると、「以前から来ているから」「この病院に指定されたから」「入院したことがあるから」などが上位で、「よい先生がいるから」「人に勧められたから」は下位となっている(平成18年度 昭和病院が実施したアンケート調査)。
- 昭和病院への通院は、月に1～3回の利用が78.5%である(住民アンケート調査)。

## d. 公共施設の利用

### ■1. 地域内の公民館や地域センターを利用している人が多い

- 公共施設の利用は、地域内の公民館・地域センターが22.0%と最も多く、次いで市役所周辺が17.7%、東部市民センターが17.1%である。平均すると月に2.5回である(住民アンケート調査)。
- 地域内の公民館・地域センターを利用する人は、週に1回が29.7%、月に2～3回が27.5%である(住民アンケート調査)。
- 近くの公民館や地域センターへ習い事等に行っている人は10人いた(住民グループヒヤリング調査)。

### ■2. 市役所は年に数回程度の利用である

- 「証明書発行などは東部市民センターで出来るので、あまり行かない」「どうしても行かなければいけない用事がなければ行かない」(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. 市役所周辺(中央公民館、福祉会館、健康センター等)へは、元気で活動的な人が行っている

- 市役所周辺へは、地域団体役員やボランティア活動をしている人(4人)が週1～2回、習い

事をしている人(3人)が月1~2回行っている。自転車を利用するか電車を乗り継いで行っている(住民グループヒヤリング調査)。

- 中央公民館や福祉会館の講座などへは、参加してみたいという願望が強いと考えられる(住民グループヒヤリング調査)。
- 市役所周辺を利用する人(全体の17.7%)は、週に2~3回が27.0%、月に2~3回が21.6%、月に1回が18.0%となっている(住民アンケート調査)。

## ②公共交通の問題点・改善要望

### a. 資料・データ等に見る問題点

#### ■1. 大沼町・花小金井地域の高齢化率は18.8%と高齢化が進んでいる

- 高齢化状況は、平成9(1997)年の3,133人(14.0%)から平成18(2006)年の5,292人(18.8%)へと、大きく進行し、市平均とほぼ同じである。
- 小平市の昼間人口は、1975年の136,165人から1995年の150,473人へと、20年間で14,308人増加している。大沼町・花小金井地域でも高齢者が増加していることから、昼間居住者は増えていることが予想できる。

#### ■2. バス路線の現状について

##### □1. 大沼町・花小金井地域は、シルバーパスでの利用者が多い

- バスの利用頻度(平均)は週に約1.3回である。このうち、シルバーパスを持っている人は約2.0回、シルバーパスを持っていない人は約0.8回である(住民アンケート調査)。
- 70歳以上の住民のうち、7割近くがシルバーパスを持っている(住民アンケート調査)。
- 「花小金井駅より北側では、シルバーパスの利用率が高い」(交通事業者ヒヤリング調査)。

##### □2. 新青梅街道は、バス路線が運行していない(道路条件から難しい)

- 新青梅街道沿いの住宅地(大沼町二丁目、野中台団地など)は、バス交通を利用しにくい状況にある。
- 「新青梅街道は、片側2車線の幹線道路で交通量もかなり多いため、バス停を設けるにはバスベイが必要である」「バスベイがあっても、交通の流れに戻るのが難しいことから、バスルートの開設はかなり困難と考えられる」(交通事業者ヒヤリング調査)。

##### □3. 東京街道は、七小通りより西側にはバス路線がなく、小金井街道より東側は土・日・祝日しか運行していない

- 東京街道の新小金井街道より西側は、以前、西武バスが運行していたが、利用者が少なかったため廃止となった。
- 東京街道の小金井街道より東側は、以前は関東バスが毎日運行していたが、利用者が少なかったため土・日・祝日の「六都科学館行き」のみの運行となった。

##### □4. 大沼団地から花小金井駅・国分寺駅までのバス路線が開設された

- 国分寺駅から花小金井駅を経由して昭和病院まで運行していた立川バスの路線が、昭和病院の改修に伴って、大沼団地(公民館前)までルートを延伸した。

#### ■3. 鉄道駅の周辺環境について

##### □1. 小平駅北口は、駅前広場がなく、タクシー乗場もない

- 小平駅北口は駅前整備が進んでおらず、道路も狭いため、バス車両が入れない。

- タクシー乗場は、駅から少し離れた霊園への参道入口にある(霊園利用者用)。
- 「小平駅は、分岐点・結節点となる場所に位置しており、交通の要所になっているが、道路整備が不足しているため、交通結節点の機能は弱い」(交通事業者ヒヤリング調査)。

## □2. 西武新宿線の踏切は越えるのに時間がかかる

- 朝の通勤時間帯は、踏切が閉まっている時間が長く、交通量も多いため、渋滞している。新小金井街道のアンダーパスが開通し、以前よりは渋滞が緩和されているようである。
- 「花小金井駅南側から大沼団地へ行くには、踏み切りを2箇所越えなくてはならないので、事業者としてはリスクを負って運行している」(交通事業者ヒヤリング調査)。

## b. 日常の交通手段で困っていること

### ■1. 外出のとき困っていること

#### □1. 外出で困っている地区 —— 大沼町一・二丁目、花小金井三丁目

- 「外出の交通で困っている」は、大沼町一丁目が55.6%、大沼町二丁目が53.8%、花小金井三丁目が54.2%と高い(住民アンケート調査)。

#### □2. 困っている理由

- 全地区で共通の困っている理由は、「雨の日や暑い日などの外出」が75.2%、「買物などの荷物が多い時」が50.7%、「体調の良くない時の外出」が47.5%と、気候や身体的な負担が上位を占めている(住民アンケート調査/複数回答)。
- 大沼町一・二丁目と花小金井三丁目では、鉄道駅まで遠いことや、バス交通の不便性、タクシー利用料金の負担が多いことなどの傾向がある(住民アンケート調査/複数回答)。

#### □3. 荷物があると300mくらい歩くのが限界である

- 「荷物を持っている時は、東京街道まで300mくらい歩くのが限界である」「自転車の時は、ベンチに荷物を置いて自転車をとりに行き、それから積む」(住民グループヒヤリング調査)。

### ■2. 自転車利用の問題

#### □1. 自転車は、歩行者や対向する自転車を避ける 때가危ない

- 「すれ違う自転車を避ける時に、よろけてしまう」「小平駅から歩いて登校する錦城高校の生徒は、避けてくれないので困る」(住民グループヒヤリング調査)。

#### □2. 「やむを得ず」自転車に乗っている高齢者が多い

- 「それしか手段がないから、危ない芸当をして命がけで自転車に乗っている人達が沢山いる」「止めるにしても、事故を起こさないと決心がつかない」(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. タクシーの積極的な利用

#### □1. 雨の日、夜間、土地勘がない場所へはタクシーを利用する

- 「雨の日など、必要な時はタクシーを使う。車を持つよりその方がずっと安い」「目が悪いので夜間は自転車に乗らず、タクシーを使う」(住民グループヒヤリング調査)。

#### □2. 自家用車利用からタクシーや送迎に切り替えている人がいる

- 自家用車を利用する回数が少ない人は、保険や税金、ガソリンなどの維持費が高くつくことから、タクシーや送迎に切り替えている(住民グループヒヤリング調査)。

## c. 路線バスの問題点と改善要望

### ■1. 行先・ルート

#### □1. 花小金井駅の北口と南口で、乗り換えが必要な便があり不便（立川バス）

- 系統によって花小金井駅止まりがあり、北口から南口へ乗換が必要となるため、不便と感じている。運賃を2回払うことも負担に感じている（住民グループヒヤリング調査）。
- 「以前は、国分寺駅行きも昭和病院行きもともに花小金井駅南口の同じバス停で発着していたが、利用者から分かりにくいとの苦情があり、行先によって乗場が北口と南口にわかれている現在のシステムになった経緯がある」（交通事業者ヒヤリング調査）。

#### □2. 市役所周辺へ行くバスが不便

- 「市役所行きは、花小金井駅からも小平駅からも不便である」（住民グループヒヤリング調査）。

### ■2. 1時間1本の運行は不便、できれば1時間に4本は欲しい

- 「都営バスは1時間に1本であてにならない」「西武バスの昭和病院行き（花小金井駅南口⇄小平駅南口）が1時間に1本しかない」「大沼団地から国分寺に行くバスは1時間に1本しかない。4本くらいあればよい」（住民グループヒヤリング調査）。

### ■3. 路線バスは、「時間があてにならない」と受け止められている

- 「急ぐ時、バスはあてにならない」「バスは不安である」「これから来るのか、もう行ってしまったのかわからない」（住民グループヒヤリング調査）。

### ■4. バス停

#### □1. バス会社ごとにバス停が離れているのは不便 —— 合同庁舎前、西友前など

- 「どの会社のバスも全て停まれば、非常に使いやすい」「乗る人にとっては、どのバス停にどのバスも停まって欲しい」（住民グループヒヤリング調査）。

#### □2. 商業施設などは、できるだけ入口近くにバス停があるとよい

- 滝山団地行きの花小金井駅入口バス停（西武バス）は、花小金井駅の西友から離れており、買物帰りに利用しにくくなっている（住民グループヒヤリング調査）。

#### □3. バス停の増設は、市役所の協力が必要である

- 「バス停設置は、住民との交渉があり、バス会社だけで進めるのは難しい」「市が住民の交渉役になってくれれば、バス停を増やすつもりはある」（交通事業者ヒヤリング調査）。

### ■5. 低床車両のバスは評判がよいが、まだ少ないと感じている

- 「ステップが低いバスが来ると『あー良かった！』と思う」「まだステップの高いバスは多い」「乗るときよりも降りる時の方が大変である」（住民グループヒヤリング調査）。

### ■6. 最近のバスドライバーの評価はよくなっている

- 「最近のドライバーは感じがよい」「昔に比べたら、運転手さんはだいぶ紳士的になった」（住民グループヒヤリング調査）。
- 一方で、「ドライバー対応は人によってぜんぜん違う。荒い人、丁寧な人、品行方正な人、…アナウンスがよく聞き取れない人もいる」（住民グループヒヤリング調査）。

## d. 新しい交通手段への要望・提案

### ■1. 行先・利用目的

- 1. 行先は、小平駅周辺と花小金井駅周辺が最も多い
- 「小平駅までが不便である」「東京街道と区内を通り、小平駅・昭和病院・花小金井駅へ行きたい」「都心に出るには花小金井駅に出られるとよい」「花小金井駅に行ければ便利である」(住民グループヒヤリング調査)。
- 2. 利用目的は、買物が最も多い
- 最も多く利用すると思うのは、買物が33.4%と最も多く、次いで通院が19.0%、公共施設利用が13.4%である(住民アンケート調査)。
- 2. 運賃は、タクシー利用を考えると100円にこだわっていない
- 1. 小平駅・花小金井駅までであれば、100円圏内である
- 「便利なら100円出す」「200円だと考えてしまう」「小平駅・花小金井駅までなら100円が妥当ではないか」「駅の駐輪場料金が100円なので、100円であれば利用する。170円、150円だと自転車を利用する」(住民グループヒヤリング調査)。
- 2. タクシー代を考えると100円以上でも利用する
- 「200円でもタクシーより安いことを考えれば乗るかもしれない」(住民グループヒヤリング調査)。
- 3. 地域で支えるシステムがあるとよい —— 出せる金額は年に3～5千円程度
- 「コミュニティタクシーを利用するためのチケットを隣近所の皆さんで買って、使えると良いと思う」「3千円とか5千円とかならいい」「路線バスも乗り放題ならいいけど、地域内だけで1万円だとちょっと出すのはためらう」(住民グループヒヤリング調査)。
- 3. 買物・通院で出かける時間
- 1. 買物は9時～11時頃、通院は8時30分～9時頃出かける
- 「買物には午前中(11時くらい)に行く」「西友は9時からやっている」「病院に行く時は8時半から9時くらい」(住民グループヒヤリング調査)。
- 2. 帰りは、あまり遅くならない夕方(夕食前)である
- 「帰りは17時頃」「夏の帰りは18時頃かな」(住民グループヒヤリング調査)。
- 4. 1時間に3本以上、定時定路線で、という声が多い
- 「15分に1本だったらよい」「20分に1本」「にじバスと同様に1時間に3本欲しい」「30分に1本は欲しい」(住民グループヒヤリング調査)。
  - 「電話での予約は少し面倒である」「急に出かけるときには予約方式だと困る」(住民グループヒヤリング調査)。
- 5. 乗り切れないときなどを検討する必要がある
- 「最後の方のバス停の人が、満員で乗れなくなるのは不公平である」「雨が降ったら乗れないこともあるのでは」(住民グループヒヤリング調査)。
- 6. バス停まで歩ける距離は5分くらいである(10分は遠く感じる)
- 「バス停まで5分くらいならいいけど、10分歩くのは遠い」「買物した後は、10分も歩くと荷物を置きたくなる」(住民グループヒヤリング調査)。
  - 駅まで歩いていける時間は、15分以内が3分の2を占める(住民アンケート調査)。

### (3) 大沼町・花小金井地域の地区区分の考え方と地域・交通特性

#### ①地区区分の考え方

大沼町・花小金井地域は、小平市の北東部に位置し、西武新宿線と隣接市境によって囲まれた地域で、小平駅と花小金井駅の2駅がある。地域を通る幹線道路は、南北には小金井街道と新小金井街道、東西には青梅街道と東京街道と新青梅街道がある。

また、地域の真ん中に東久留米市(弥生一・二丁目)が入り込んでおり、その西側に美園町二・三丁目と大沼町一・二丁目、東側が花小金井一～六丁目と分かれている。

これらの市境や道路で区分された地区は、それぞれ異なった特性(市民の生活行動や交通状況)を持っており、交通の不便性やニーズが異なることが考えられる。そこで、次のように6つの地区を設定し、地区毎に公共交通の問題点を整理して改善課題の検討を行なうこととする(地区区分図を参照/33頁)。

#### ②地区の区分と地域・交通特性

##### ■1. A地区(小平駅周辺)：美園町二丁目、美園町三丁目の一部(東京街道沿い)、大沼町一丁目の一部(大沼本通り沿い)

□人口・高齢化：美園町二丁目は、人口(1,059人)、高齢者(169人)ともに地域内で最も少ない。高齢化率は16%と市平均(18.6%)より低い。

□交通：小平駅北口地区にはバス路線がない。小平駅南口からは、国分寺駅・武蔵小金井・新小平駅・花小金井駅方面へのバス路線がある。

□施設：小平駅周辺にはスーパーや医院、公共施設が集まっている。南口には大型商業施設や銀行などがあり、医院も多く集まっている。北口はスーパーと郵便局、商店と少ない。

##### ■2. B地区(東京街道南側)：大沼町一丁目、大沼町二丁目の一部(東京街道沿い)

□人口・高齢化：大沼一丁目は、人口(5,373人)、高齢者数(1,109人)ともに地域内で最も多い。高齢化率も20.6%と4番目に高い地区である。

大沼町一丁目アパートは、市内で最も規模の大きい団地である(858戸)。

□交通：小平駅までは、約0.5km～1.6kmである。バス路線は、大沼団地を起点にして東京街道と新小金井街道を通過して花小金井駅や国分寺駅へアクセスしている。

□施設：東京街道沿いにクリニックが、七小通り沿いに小児科がある。

大沼町一丁目アパート内には、大沼公民館と大沼図書館がある。

##### ■3. C地区(東京街道北側)：大沼町二丁目(東京街道沿いを除く)、美園町三丁目

□人口・高齢化：大沼町二丁目は、人口(4,732人)、高齢者(1,834人)ともに地域内で2番目に多い。高齢化率(14.9%)は市平均(18.6%)より低い。美園町三丁目は、人口(1,481人)は少ないが、高齢者(431人)は多く、高齢化率も29.1%と高い。

□交通：小平駅までは、0.5km(都営大沼町二丁目アパート)～1.6km(新青梅街道沿い)である。

バス路線は、東京街道の一部(立川バス)と新小金井街道(西武バス)に運行しているのみ

で、地区内にはほとんどバス交通がなく、バス停からも離れている。

□施設：地区内にはスーパーはなく、コンビニエンスストアも少ない。

医院・病院は、多摩済生病院と人工透析を行う医院がある。

■4. D地区(花小金井駅周辺)：花小金井一・六丁目、  
花小金井二・五丁目の一部(青梅街道沿い)

□人口・高齢化：花小金井一・六丁目は、人口(2,689人/1,887人)、高齢者(431人/324人)ともに大沼町・花小金井地域の平均値、高齢化率(16.0%/17.2%)は市平均(18.6%)より低い。

□交通：花小金井駅までは、約0.6km以内である。

バス路線は、花小金井駅を起点として、東久留米駅・清瀬駅・田無駅・国分寺駅・武蔵小金井駅・小平駅南口方面がある。都営バスが青梅街道を運行している。

□施設：花小金井駅北口には、大型商業施設、東部市民センター、郵便局などがある。

花小金井駅南口には、スーパーがある。医院・クリニックが多く集まっている。

■5. E地区(小金井街道西側)：花小金井四・五丁目、  
花小金井二・三丁目の一部(小金井街道沿い)

□人口・高齢化：花小金井四丁目は、人口(2,261人)、高齢者(422人)ともに大沼町・花小金井地域の平均であり、高齢化率(18.7%)は市平均(18.6%)と同程度である。

花小金井五丁目は、人口(3,939人)、高齢者(868人)ともに多く、高齢化率(22.0%)は市平均(18.6%)より高い。

□交通：花小金井駅までは、約0.7km(花小金井五丁目)～1.8km(都営花小金井四丁目アパート)である。バス路線は、東京街道と小金井街道に、花小金井駅から東久留米駅方面と清瀬駅方面へ行く路線がある。新青梅街道にはバス路線がない。

□施設：東京街道沿いには、コンビニエンスストア、郵便局、医院がある。花小金井北公民館がある。

■6. F地区(小金井街道東側)：花小金井二・三丁目(青梅街道・小金井街道沿いを除く)

□人口・高齢化：花小金井二・三丁目は、人口(2,491人/2,180人)、高齢者(370人/465人)ともに大沼町・花小金井地域の平均である。高齢化率は、花小金井二丁目は14.9%と市平均(18.6%)より低く、花小金井三丁目は21.3%と市平均より高い。

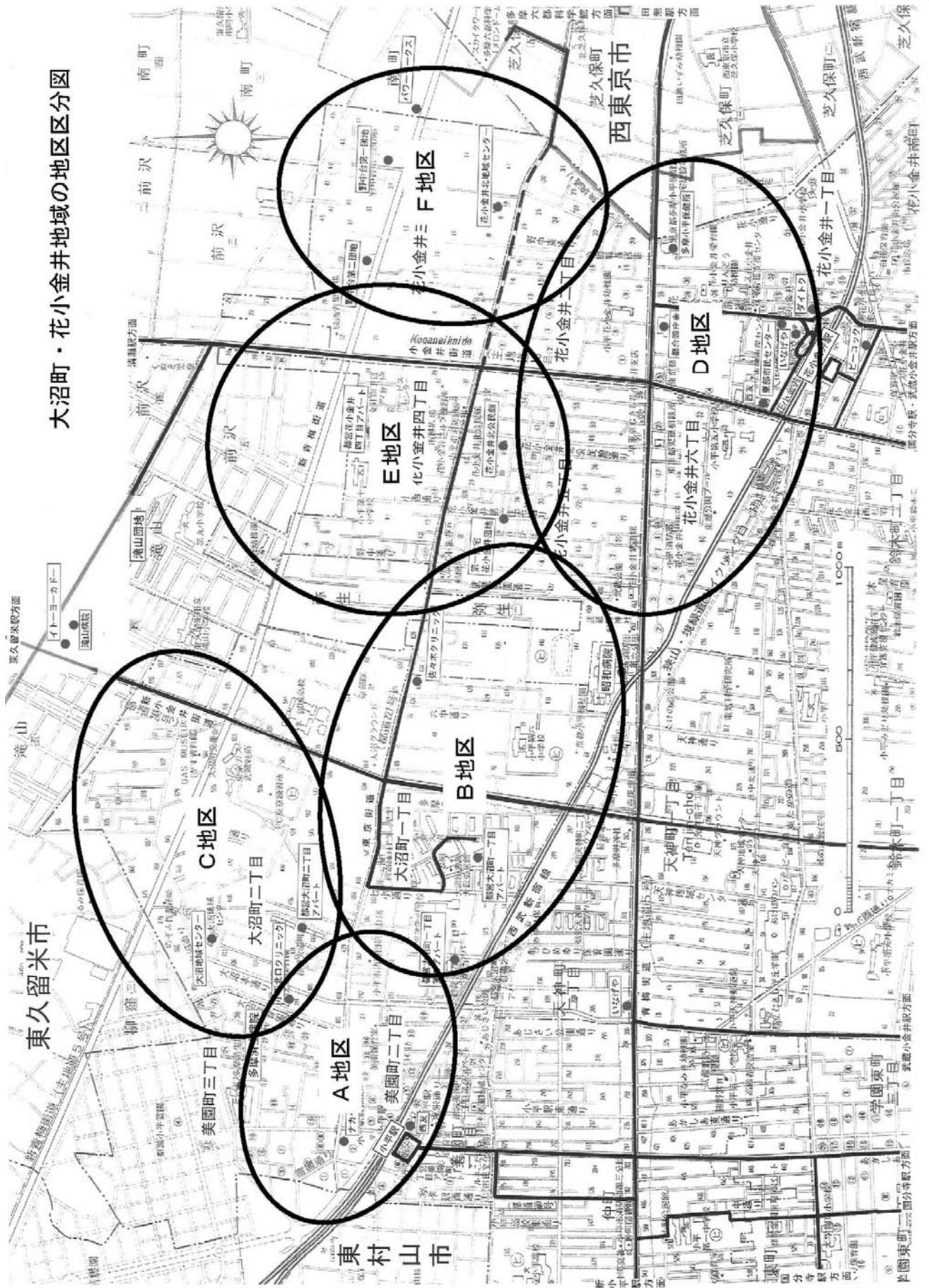
□交通：花小金井駅までは、約0.7km(花小金井二丁目)～1.8km(野中台団地)である。

バス路線は、東京街道を多摩六都科学館行きが土・日・祝日のみ運行している。新青梅街道にバス路線がないため、地区内には平日運行するバスがなく、バス停まで遠い。西東京市との境界(田無境通り)を「はなバス」が田無駅まで運行している。

□施設：新青梅街道沿いには、スーパーがある。コンビニエンスストアは少ない。

東京街道沿いに医院がある。花小金井北地域センターがある。

# 大沼町・花小金井地域の地区区分図



## (4) 地区別にみる生活行動と公共交通

①A地区（小平駅周辺） --- 美園町二丁目、美園町三丁目の一部（東京街道沿い）、大沼町一丁目の一部（大沼本通り沿い）

### a. 生活行動

#### ■1. 買物 —— 小平駅周辺や天神町のスーパー等へ行っている

- 小平駅（西友、ナカヤ）や天神町のいなげやへ歩いて行っている。荷物が多い時は自転車である。ほぼ毎日、週に2～3回行っている人が多い（住民グループヒヤリング調査）。
- 美園町二丁目からの買物は、小平駅周辺が8割近くを占めている（住民アンケート調査）。

#### ■2. 通院

##### □1. 小平駅南口へ行っている人が多い

- あかしあ整形外科（あかしあ通り）へは、小平駅南口からバスを利用している。山之内整形外科へは、徒歩か自転車で行っている。週3～4回（住民グループヒヤリング調査）。
- 美園町二丁目からの通院は、小平駅周辺が50.0%、多摩済生病院が33.3%と多い（住民アンケート調査）。

##### □2. 昭和病院へは、タクシーで2ヶ月に1回、予約をして行っている人がいる

- 「昭和病院へは、タクシー（美玉交通）を電話で呼んでいる」（住民グループヒヤリング調査）。

### b. 公共交通の問題点・改善要望

#### ■小平駅北口の周辺環境

##### □1. 駅前に公共交通用のスペースがない

- 小平駅北口の周辺は、道路が狭い上に、駅前スペースがない。小型のにじバス車両でも駅前まで入ることは難しいと考えられる。
- タクシー乗場も駅前にはなく、霊園への参道入口にあるため不便である。

##### □2. 通勤時間帯は踏切で渋滞している

- 「通勤時間帯は踏切が閉まっている時間が長く、踏切待ちの車が東京街道の2つめの信号（病院入口）近くまで続いている」「タクシーでも踏切に引っかかると、メーターが2つくらい上がってしまう」（住民グループヒヤリング調査）。

②B地区（東京街道南側） --- 大沼町一丁目、大沼町二丁目の一部（東京街道沿い）

### a. 生活行動

#### ■1. 買物

##### □1. 小平駅周辺、花小金井駅周辺、滝山団地周辺のスーパー等へ行っている

- 小平駅と滝山団地へは、自転車で行く人が多い（住民グループヒヤリング調査）。
- 「花小金井駅へは、大沼団地発の路線バスができて便利になった」（住民グループヒヤリング調査）。
- 大沼町一丁目からの買物は、小平駅周辺が63.9%と最も多く、次いで花小金井駅周辺が11.8%、滝山団地周辺が7.6%である（住民アンケート調査）。

□2. 都心方面(新宿)へは、バスで花小金井駅まで行き西武新宿線を利用している

- 大沼町一丁目アパート周辺の人は、花小金井駅から電車を利用している。月に1～2回程度である(住民グループヒヤリング調査)。

■2. 通院

□1. 通院先 —— 昭和病院、小平駅周辺、多摩済生病院に分かれる

- 大沼町一丁目からの通院は、昭和病院が21.2%、小平駅周辺が20.0%、多摩済生病院が17.6%と分散している(住民アンケート調査)。

□2. 月1～2回程度の通院 —— 地域内や小平駅周辺の医院

- 小平いりえクリニックとみその診療所へは徒歩か自転車、昭和病院へはタクシーで行っている人が多い(住民グループヒヤリング調査)。

□3. 週3～4回のリハビリ —— 小平駅南口

- 「自転車で山之内整形外科へ週に3～4回行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

□4. 内科・歯科・小児科・健康診断などの不定期な通院は多様である

- 佐々木クリニック、前田外科(東久留米)、遠藤こどもクリニック、滝山病院、昭和病院、花小金井北クリニック、仲谷クリニック、みその診療所など(住民グループヒヤリング調査)

□5. 多摩済生病院には、人気のある診療科目(水曜の整形外科、外科など)がある

- 気に入っている人は、家族何代も続けて利用している(住民グループヒヤリング調査)。
- 大沼町一丁目からは、17.6%と3番目に多い(住民アンケート調査)。

b. 公共交通の問題点・改善要望

■1. 大沼団地発の路線バス(立川バス)の評価・利用状況

□1. 花小金井駅へ行くのが便利になった

- 「以前は小平駅へ行っていたが、最近は花小金井駅の西友へ行くようになった人もいる」「花小金井駅周辺の経済効果に貢献しているのではないか」「都心方面へ行くときには小平駅より花小金井駅の方が便利である」「立川バスが来てくれて便利になった」(住民グループヒヤリング調査)。
- 大沼町一丁目は、普段の外出の交通手段として「徒歩とバス」の占める割合が33.3%である。バスのない大沼二丁目(20.4%)に比べて高い(住民アンケート調査)。

□2. 朝の通勤時間帯は、大沼団地から乗る人は少ない

- 「朝は、団地から乗る人は少ない」(住民グループヒヤリング調査)。
- 「鈴木町や共済住宅、小平団地のあたりでは、朝も昼間も利用者が多い。大沼団地からの通勤利用はほとんど増えていない。大沼団地からは、歩いて小平駅まで行く人の方が多い。新しいバス路線ができて、すぐには通勤経路は変えないのだろう」(交通事業者ヒヤリング調査)。

□3. 存続するためにはPRが必要である

■2. 路線バスの問題点と改善要望

□1. 花小金井駅止まりのために、南口と北口の乗り換えが不便である

- 大沼団地発の路線には、花小金井駅北口行きの路線(国分寺駅へ行かない)がある。
- 国分寺駅からの帰りも、花小金井駅南口で止まり、北口で乗換えが必要な便がある。

□2. 小平七小入口と錦城高校南の間に、もう一箇所バス停があるとよい

- 「小平七小入口と錦城高校南の間にバス停があれば、あまり歩かなくても西武バスとの乗り

継ぎができる」(住民グループヒヤリング調査)。

**□3. 大沼団地から花小金井駅の間は本数が少ない**

- 大沼団地から花小金井駅の間は、大沼団地発が32本/日、花小金井駅発が35本/日であり、平均すると1時間に2本程度である。
- 花小金井駅南口から国分寺駅までの間は本数が多い(15分間隔)。

**□4. 国分寺駅から新小金井街道を真っ直ぐ帰ってくる便が少ない**

- 「国分寺から大沼団地へは、花小金井駅に入らずに新小金井街道を真っ直ぐ通ってくる便があるが、本数が少ない」(住民グループヒヤリング調査)。
- 「花小金井駅を経由しない国分寺駅北口⇄大沼団地直通の系統は、本数が少ないこともあり、大沼団地からはあまり利用されていない」(交通事業者ヒヤリング調査)。

**③ C地区(東京街道北側) — 大沼町二丁目、美園町三丁目**

**a. 生活行動**

**■1. 買物**

**□1. 小平駅周辺や滝山団地周辺のスーパー等へ、徒歩か自転車で行く人が多い**

- 「小平駅の西友とナカヤへ毎日か週に2~3回行っている」「荷物が多い時は、カート代わりになるので自転車を利用している」(住民グループヒヤリング調査)。
- 新青梅街道に近い人は、滝山団地周辺へ行っている(住民グループヒヤリング調査)。
- 大沼町二丁目からの買物は、滝山団地周辺が44.1%と最も多く、次いで小平駅周辺が32.3%である。美園町三丁目からの買物は、小平駅周辺が66.7%と最も多く、次いで滝山団地が4.8%である(住民アンケート調査)。

**□2. 出かけた帰りや天気のよい日に、花小金井駅周辺へ行く人もいる**

- 「通院や電車を出かけた帰りには、花小金井駅周辺で買物をしている」「天気のよい日や風のない日は自転車で行くこともある」(住民グループヒヤリング調査)。

**□3. 市外や都心方面へは、小平駅を利用している**

- 「小平駅まで歩いて(15~20分)、西武新宿線を利用している」(住民グループヒヤリング調査)。

**■2. 通院**

**□1. 通院先 — 昭和病院、小平駅周辺、多摩済生病院に分かれる**

- 大沼町二丁目・美園町三丁目からの通院は、小平駅周辺が19.3%と29.2%、昭和病院が26.3%と20.8%、多摩済生病院が10.5%と16.7%である(住民アンケート調査)。

**□2. 数ヶ月に1回の通院 — 昭和病院など**

**□3. 月1~2回の通院 — 地域内や小平駅周辺、花小金井駅南口の医院**

- 小平いりえクリニック、近藤医院(花小金井駅南口)、みその診療所などへ自転車で通っている人が多い(住民グループヒヤリング調査)。

**□4. 週1~2回の通院 — 小平駅南口**

- 小平駅南口の澄川医院(耳鼻科)やあかしあ脳神経外科へ通っている人が多い。家族が車で送迎している(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. 大沼地域センター：図書館やカラオケ教室、趣味の講座などがあり利用している

#### b. 公共交通の問題点・改善要望

##### ■1. 日常の交通手段で困っていること

###### □1. 小平駅まで0.5～1.6kmである

- 「大沼地域センター周辺は、小平駅まで約1.3km、昭和病院まで約1.5km、滝山団地まで約1kmと何処へ行くのも遠い」「小平駅までは、歩いて15～20分以上かかる」（住民グループヒヤリング調査）。
- 大沼町二丁目は、「鉄道の駅まで遠いため困っている」が60.0%と多い(住民アンケート調査/複数回答)。

###### □2. 地区内にはバス路線がほとんどない

- バス路線は、新小金井街道(西武バス)と東京街道の一部(立川バス)にあるのみで、新青梅街道と東京街道の大部分にはバス路線がない。
- 「小平駅北口から東京街道をって花小金井駅へ行くバスは、看板ひとつで廃止になってしまった」（住民グループヒヤリング調査）。
- 大沼町二丁目は、「バスが運行していないため困っている」が38.0%と比較的多い(住民アンケート調査/複数回答)。

###### □3. バス停までも遠いため、バスを利用しにくい

- 「大沼団地(立川バス)のバス停までは、500m～1km離れている」「都営大沼町二丁目アパート付近にバス停があれば、少し便利になる」（住民グループヒヤリング調査）。
- 「新小金井街道のガスマuseum入口バス停は、新青梅街道沿いに住む市民の利用が多い。新青梅街道沿いは近くにバス停がないためと考えられる」（交通事業者ヒヤリング調査）。

##### ■2. 自転車の利用で困ること：小平駅周辺に自転車置き場が少ない

- 「買物などに出かける時間には、小平駅南口の駐輪場が満車になってしまう」「駅から離れた場所なら空いているが、荷物が重くてそこまでが大変である」（住民グループヒヤリング調査）。

##### ■3. タクシーの利用で困ること：料金が安い、北口のタクシー乗場が遠くて不便である

- 交通手段がないので、雨の日や荷物があるときは駅までタクシーを利用する人が多い。「普通はワンメーターで行ける距離であるが、踏切で止められると時間がかかり1,500円かかることがある」（住民グループヒヤリング調査）。
- 大沼町二丁目は、「タクシーを利用すると料金がかさむため困っている」が54.0%と多い(住民アンケート調査/複数回答)。
- 「霊園の方まで歩いて行かなくてはならない」「小平駅北口の駐車場のところに2台くらい停まってくれればいい」（住民グループヒヤリング調査）。

##### ■4. 錦城高校のバス停の近くに駐輪場(サイクル・アンド・バスライド用のバス停)があるとよい

- 「錦城高校まで出れば西武バスで花小金井駅へ行ける。歩くと20分くらいかかる」「自転車を置くところがないので、バス停の近くに駐輪場があればだいぶ楽である」（住民グループヒヤリング調査）。

④D地区（花小金井駅周辺） --- 花小金井一・六丁目、  
花小金井二・五丁目の一部(青梅街道沿い)

a. 生活行動

■1. 買物

□1. 花小金井駅周辺(西友、いなげや、ダイトク、ピーコック)が多い

- ほぼ全員が、花小金井駅北口の西友、いなげやへ徒歩か自転車で行っている。「ダイトクは庶民的、ピーコックは品揃えがよくリッチ感がある」(住民グループヒヤリング調査)。
- 花小金井一・六丁目からの買物は、花小金井駅周辺がそれぞれ91.4%、72.5%と最も多い(住民アンケート調査)。

□2. 車で買物をする人は、天神町のいなげや、滝山のイトーヨーカドーへ行く

□3. 都心方面へは、花小金井駅から西武新宿線を利用する

- 花小金井駅から電車に乗り、西武新宿駅まで行ったり、高田馬場駅で地下鉄に乗り換えたりしている(住民グループヒヤリング調査)。

■2. 通院

□1. 通院先 —— 花小金井駅周辺、近くの医院、昭和病院に分かれる

- 花小金井一・六丁目からの通院は、花小金井駅周辺が35.0%と39.1%、近くの医院が35.0%と26.1%、昭和病院が10.0%と21.7%と分散している(住民アンケート調査)。

□2. 月1回程度の通院 —— 昭和病院

- 「昭和病院の循環器科へ徒歩か自転車で行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

□3. 風邪の時や眼科・歯科など —— 地域内、花小金井駅南口の医院

- 「ちょっとした風邪の時や眼科・歯科などへは、近くの医院(花小金井北クリニック、秀クリニック、神津歯科、八木クリニックなど)へ行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

■3. 東部市民センターは、証明書の発行や図書館などで利用されている

- 図書館は東部市民センターを利用する人が多い。「証明書の発行などは東部市民センターでも出来るので、(市役所へは)あまり行かない」(住民グループヒヤリング調査)。

b. 公共交通の問題点・改善要望

■路線バスの問題点と改善要望

□青梅街道の都営バスは本数が少ない(1時間2本ならいい)

- 「市役所方面へ行く都営バスは1時間に1本であてにならない」「せめて30分に1本は欲しい」(住民グループヒヤリング調査)。

⑤E地区（小金井街道西側、青梅街道北側）

--- 花小金井四・五丁目、花小金井二・三丁目の一部(小金井街道沿い)

a. 生活行動

■1. 買物

□1. 花小金井駅周辺のスーパー等へ行っている人が多い

- 花小金井駅へ徒歩か自転車ですら週3～4回程度行っている(住民グループヒヤリング調査)。

- 花小金井四・五丁目からの買物は、花小金井駅周辺がそれぞれ61.5%、78.1%と最も多い(住民アンケート調査)。

**□2. 東京街道より北側の方は、滝山団地周辺のスーパー等へも行く**

- 滝山の商店街や団地へ週1回程度行っている人が多い。歩くには遠いので自転車である。運動のために歩いている人もいる(住民グループヒヤリング調査)。
- 花小金井四丁目からは、滝山団地周辺へ行く人が21.2%と多い(住民アンケート調査)。

**□3. 足りないものがある時は、東京街道沿いのコンビニで買う**

- 「99ショップは、豆腐や日用品、野菜、温泉卵が安い」(住民グループヒヤリング調査)。

**■2. 通院**

**□1. 通院先 —— 花小金井駅周辺、近くの医院、昭和病院に分かれる**

- 花小金井四丁目からの通院は、近くの医院が35.5%、花小金井駅周辺が29.0%、昭和病院が16.1%である(住民アンケート調査)。
- 花小金井五丁目からの通院は、花小金井駅周辺が31.4%、昭和病院が19.6%、近くの医院が15.7%である(住民アンケート調査)。

**□2. 月1回程度の通院 —— 昭和病院や市外の総合病院**

- 「昭和病院へ車で月1回行っている」「世田谷区の駒沢病院(リウマチ専門の先生)へ家族に車で送ってもらっている」(住民グループヒヤリング調査)。

**□3. 整骨院に週3回通っている —— 近くの整骨院**

- 「さくらば整骨院へ自転車で週3回行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

**■3. 地域の公民館・地域センターで習い事をしている**

- 「花小金井北地域センター、花小金井北公民館、花小金井南公民館へ習い事に通っている。週1回ずつである」(住民グループヒヤリング調査)。

**b. 公共交通の問題点・改善要望**

**■1. 日常の交通手段で困っていること**

**□1. 自転車：東京街道は危ない**

- 「自転車で東京街道を走るのが怖い」「人や自転車とすれちがう時などに、いちいち降りているので、乗っている距離より歩く距離の方が長いくらいである」(住民グループヒヤリング調査)。

**□2. 弥生町(東久留米市)よりの東京街道と青梅街道の間に住む人は、バス停まで遠い**

- 「青梅街道と東京街道の真ん中になるので、バスに乗りたいたってもどちらかに歩かなくてはならない」(住民グループヒヤリング調査)。

**⑥ F地区(小金井街道東側、青梅街道北側) —— 花小金井三丁目・二丁目の一部**

**a. 生活行動**

**■1. 買物**

**□1. 花小金井駅周辺へ行っている**

- 「花小金井駅の西友やいなげやへよく行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

- 花小金井二・三丁目からの買物は、花小金井駅周辺がそれぞれ74.0%、72.9%と最も多い(住民アンケート調査)。

#### □2. 野中台団地の方は、滝山団地や新青梅街道沿いのスーパーへも行く

- 「パワーラークスは数年前にできたスーパーで、野中台第一・二住宅の方はとても助かっている」(住民グループヒヤリング調査)。

#### □3. 西東京市に近い方は、田無駅周辺のスーパー等へも行く

- 自転車や「はなバス」で田無駅周辺へ行っている人が多い(住民グループヒヤリング調査)。

### ■2. 通院

#### □1. 通院先 —— 昭和病院、花小金井駅周辺、近くの医院に分かれる

- 花小金井二・三丁目からの通院は、昭和病院が33.3%と42.3%、花小金井駅周辺が25.0%と26.9%、近くの医院が20.8%と19.2%と分散している(住民アンケート調査)。

#### □2. 月1回程度の通院 —— 昭和病院、田無の病院、地域内の医院

- 「田無の病院へ『はなバス』で行っている」「昭和病院やエムクリニック(昭和病院の呼吸器科の先生が開業)へ月1回行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

#### □3. 野中台団地の方は、タクシーで通院している

- 「野中台団地の方は、花小金井駅周辺の医院、昭和病院、田無の病院、東村山の病院などへタクシーで行っている」(住民グループヒヤリング調査)。

### b. 公共交通の問題点・改善要望

#### ■1. 日常の交通手段で困っていること

##### □1. 花小金井駅まで0.7~1.8kmである

- 「花小金井駅までは、花小金井二丁目からは約700m、野中台団地からは約1,800mである」「野中台団地から徒歩で20分以上かかる」(住民グループヒヤリング調査)。

##### □2. 地区内にはバス路線がほとんどない

- 新青梅街道にはバス路線がない。
- 東京街道のバス路線(多摩六都科学館行き)は、土・日・祝日のみの運行である。

##### □3. バス停まで遠く、バスを利用しにくい

- 新小金井街道にあるバス停まで遠い。
- 花小金井三丁目は、「バス停まで遠いため困っている」が53.8%と多い(住民アンケート調査/複数回答)。
- 花小金井三丁目の普段の外出の交通手段は、「徒歩とバス」が50.0%と多い。バス停まで長い距離を歩いて利用していると考えられる(住民アンケート調査/複数回答)。

##### □4. 野中台団地周辺は交通が不便である

- 「本当に不便で、陸の孤島と呼ばれている」(住民グループヒヤリング調査)。

#### ■2. 自転車：新青梅街道は危ない

- 「新青梅街道はパチンコ、ガソリンスタンド、中古車の店が多く、駐車場から車が急に歩道に出てくる」(住民グループヒヤリング調査)。

#### ■3. タクシーの利用で困ること

- 花小金井三丁目は、「普段の外出でタクシーを利用する」が25.0%と多く、「タクシーを利

用すると料金がかさむため困る」が53.8%と多い(住民アンケート調査/複数回答)。

#### ■4. 路線バスの問題点と改善要望

##### □1. 東京街道を通る多摩六都科学館行きの平日運行を望んでいる

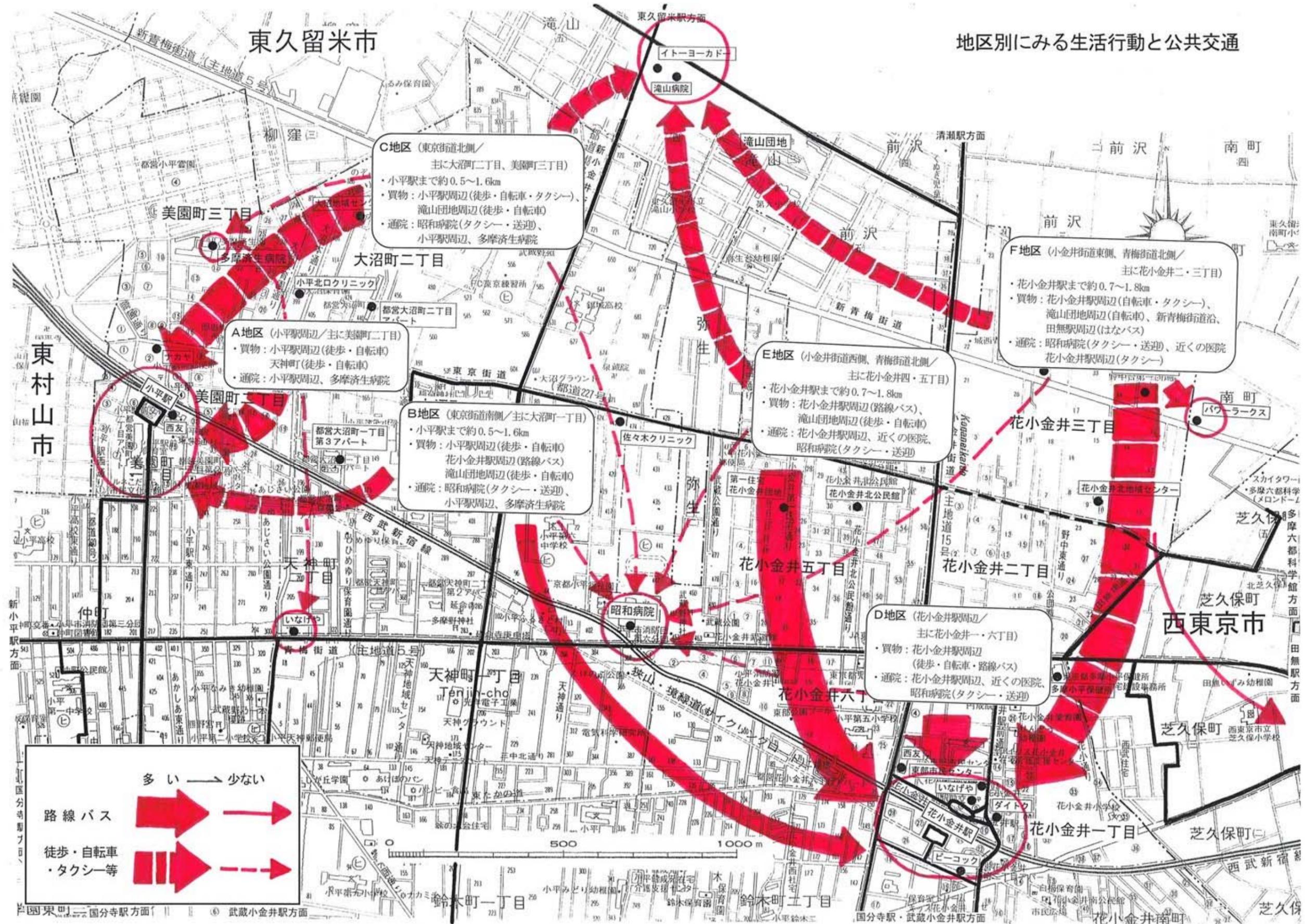
- 以前は、花小金井駅南口から多摩六都科学館行きのバス(関東バス)が毎日出ていたが、現在は土・日・祝日のみの運行となっている(38分間隔)(住民グループヒヤリング調査)。

##### □2. 通勤時間帯は、花小金井駅までが混雑していて乗れないことがある(小金井街道)

- 「通勤時間帯には、バスが来ても滝山団地から乗る人でいっぱい乗れないため、通過してしまうことがある」(住民グループヒヤリング調査)。
- 「花小金井五丁目バス停は、通勤時間帯には清瀬駅行き、東久留米駅行き、滝山団地発の路線が全て集まって3分間隔の運行になっている。雨の日以外には乗り切れないことはないと思う」(交通事業者ヒヤリング調査)。

# 東久留米市

# 地区別にみる生活行動と公共交通



#### 4. 大沼町・花小金井地域の

#### 公共交通の改善課題と対応方針

## (1) 小平市の公共交通施策の考え方

### ①公共交通サービスの現状と考え方

小平市では、地域の特性に合った移動サービスとして、路線バス、「にじバス」、コミュニティタクシーなどとの組み合わせによって、要望の多い最寄り駅へのアクセスや買い物などの地域内の生活交通の足を確保し、これをつなぐ幹線交通をつくり上げ、公共交通の充実を目指している。

#### a. 鉄道と路線バスによるサービス

1. 市内には、西武鉄道3線の6駅と、JR武蔵野線の1駅、計7駅があり、その駅を中心とした生活圏が形成されている。
2. 路線バスは、西武鉄道線の主な駅及びJR武蔵野線及び中央線の駅にアクセスしており、市民の買い物や通院、通勤・通学などの生活交通を担っている。

#### b. 公共交通利便性向上の考え方

- 市内は、鉄道と路線バスでおおむね公共交通サービスは行われていることから、「地域ごとのニーズに基づくコンパクトな生活交通」とこれをつなぐ幹線交通を充実する施策を採用するという方針をとっている。

### ②大沼町・花小金井地域への取組み

#### a. 路線バスの交通サービスの現状

1. 当該地区は、西武新宿線小平駅及び花小金井駅、及び路線バスによっておおむね公共交通サービスは満たされていると考えられる。
2. しかし、駅が遠い上に路線バスのルート設定ができない道路状況にある、路線バス運行がされていない(できない)幹線道路(部分)がある、バス停まで遠いなどから、駅へのアクセスや買い物・通院などのバスサービスが十分ではない地区も存在している。

#### b. 公共交通の利便性向上への対応

1. 地域住民の日常生活の外出行動に制約や支障をきたしている地区においては、路線バスの改善等、何らかの対策の検討が必要と考えている。
2. 道路事情などから路線バスの改善等が困難な場合には、日常生活交通に関するニーズ調査などをもとに、高齢者等の移動制約者の外出行動を支援する新しい交通システム(コミュニティタクシーなど)の検討も必要と考えている。
3. 新しい生活交通システムは、利用者数の確保や事業採算性の担保、運行主体、地域支援などの面で多くの不確定要素がある。その実効性を担保するためには実証運行の実施など、新しい交通施策を採用することが必要となってきた。

## (2) 路線バスの改善課題と対応策の検討

### ①路線バスの改善の課題

#### a. 行先・ルート —— 乗換えの負担軽減、幹線道路への運行を望んでいる

##### ■1. 花小金井駅での乗換え負担の軽減を望んでいる

—— 乗換えの抵抗、乗換バス停までの移動、運賃、所要時間など

1. 大沼町・花小金井地域内から国分寺駅へ行く際には、国分寺駅へ直接行ける便と、花小金井駅で北口から南口へ歩いて乗換えが必要な便とがある。
2. 国分寺駅からの帰りには、花小金井駅止まりの便が多い。  
※「北口から南口への乗換えは不便」「運賃を2回払うことは負担になる」などと感じているという意見である(住民グループヒヤリング調査)。

##### ■2. 東京街道・新青梅街道へのバス運行を望んでいる

1. 東京街道は、七小通りより西側にはバス路線がなく(小平駅北入口行の路線バス廃止/西武バス)、小金井街道より東側は土・日・祝日のみしか運行していない(多摩六都科学館行/関東バス)。以前は毎日バスが運行していたこともあり不便を感じている人が多い。
2. 新青梅街道は現在バス路線が運行されておらず、大沼町二丁目や野中台団地の住民は駅などへのアクセスに不便を感じている。  
※1. 「(新青梅街道は)交通量がある通りなのにバスが走っていないのはおかしい(運行して欲しい)」「東京街道を走るバスが欲しい」「小平駅北口行きのバスがあった時は便利だった」「(多摩六都科学館行が)毎日あったらいいのと思う」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。  
※2. 「新青梅街道へのバス路線設定は、道路・交通管理から難しい。東京街道は利用者が少なく採算が合わないため廃止した」(交通事業者ヒヤリング調査)。

#### b. 運行本数 —— 1時間に2～3本、毎日運行を望んでいる

##### ■1. 1時間に2～3本の運行本数の確保を強く望んでいる

1. 1時間に1本の路線：青梅街道の都営バス  
昭和病院経由の西武バス(花小金井駅南口⇄小平駅南口)  
国分寺駅行きの立川バス(大沼団地⇄国分寺駅北口)
2. 1時間に2本の路線：花小金井駅行きの立川バス(大沼団地⇄花小金井駅北口)  
※「1時間に1本であてにならない」「30分に1本は欲しい」「にじバスと同様に1時間に3本は欲しい」など増便や定間隔ダイヤを望む意見が多い(住民グループヒヤリング調査)。

##### ■2. 多摩六都科学館行きの平日の運行を望んでいる

- 多摩六都科学館行きの関東バス(花小金井駅南口⇄多摩六都科学館)は、土・日・祝日のみの運行である  
※1. 花小金井二・三丁目地区からは、「バスに乗れば遠回りでも花小金井駅まで歩くより早く行ける」「毎日あったらいい」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。  
※2. ただし、春、夏、冬休みは運行している。

## c. バス停 —— 全路線の共用化、施設入口近くへの設置などを望んでいる

### ■1. どのバス会社の路線も、全てのバス停で乗降できることを強く望んでいる

- 花小金井駅から青梅街道までの間には、3事業者(西武バス、関東バス、立川バス)の路線があるが、バス停が統一されていない。

※1. 「立川バスは、花小金井駅を出ると青梅街道までバス停がない。西武バスのバス停(花小金井駅入口、合同庁舎、青梅街道)と、関東バスのバス停(小平合同庁舎前)には停まらない」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

※2. 「関東バスの『小平合同庁舎前』バス停は、西武バスの『合同庁舎』バス停から離れている」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

※3. 「バス会社ごとにバス停が離れているのは不便」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

### ■2. 駅・集客施設等はできるだけ入口近くにバス停を設置することを望んでいる

※1. 「『花小金井駅入口』バス停(西武バス)は、西友から少し離れているため、買物の帰りに利用しにくい」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

※2. 「立川バスの大沼団地発の路線は、東京街道沿いにバス停があると、錦城高校生が通学に利用できるのではないかと」の意見がある。現在はバス停まで遠いので利用されていない(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. サイクル・アンド・バスライド用の駐輪場設置で便利になる

※1. 「『錦城高校前』バス停(西武バス)は、大沼町二丁目の住宅から離れている。自転車で行って停める場所があれば、バスを利用できる」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

※2. 埼玉県三郷市では、サイクル・アンド・バスライドを9ヶ所(約1,000台)で実施している。利用が多いことから増設している。

## d. 車両・ドライバー —— ノンステップ車両の増加、ドライバー対応の改善を望んでいる

### ■1. ノンステップのバス車両を、昼間時間帯に増やすことを望んでいる

- ノンステップバスは高齢者からの評価は高いが、まだ少ないと感じている人が多い。
  - ※買物や通院などの外出でバスを利用している高齢者などは、「ステップが低いバスが来ると『あー良かった!』と思う」や「まだステップの高いバスは多い」「ステップの高いバスは降りる時が怖い」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。

### ■2. ノンステップの車両は定員が少なくなる

- 雨の日や朝の通勤時間帯には、ノンステップバス車両だと乗り切れない恐れがある。

※1. 「ノンステップ車両は、通常的大型車両(80~86乗り)に比べて乗客定員が10人ほど少なくなる。なるべく詰めてもらうようにドライバーがマイクでお願いしているが、後方に段差があって高くなっているため、入口付近に人が溜まってしまう。利用者の多い雨の日や朝の通勤時間帯は大変である」(交通事業者ヒヤリング調査)。

※2. 「通勤時間帯には、乗り切れない(積み残し)ため通過してしまうことがある」(住民グループヒヤリング調査)。

### ■3. ドライバーの対応は、今後も改善を続けて欲しいと望んでいる

- ※1. 最近のドライバーは、「昔より感じが良い」「だいぶ紳士的になった」という意見である(住民グループヒヤリング調査)。
- ※2. 「ドライバーの対応は人によってぜんぜん違う。荒い人、丁寧な人、品行方正な人、アナウンスがよく聞き取れない人もいる」という意見がある(住民グループヒヤリング調査)。

## e. バス利用促進のPR

### ■大沼団地のバス路線存続のためには、住民へのPRや情報提供などが必要であると感じている

1. 大沼団地発の便は、本数が少ないとはいえ、花小金井駅へ行くのが便利になった。それにもかかわらず乗客が少ない。新しいバスの活用法や利便性が十分に伝わっていないことも考えられる。
  - ※「利用が少ないのは、まだ浸透していないことがあるのかも」という意見がある(住民グループヒヤリング調査)。
2. 「これまでバス路線がなかった地域では、公共交通に頼らない生活に慣れてしまっているため、新しいバス交通が出来てもすぐには利用につながらないことが考えられる」(交通事業者ヒヤリング調査)。

## ②路線バスの改善策

### a. 昼間居住者へのサービス水準を向上させて新しい需要(利用)を開発し、バス交通の活性化や活力あるコミュニティづくりをめざす

1. 小平市では少子高齢化社会が今後益々進行することから、昼間居住者(高齢者や主婦など)が増加の一途をたどることとなる。一方、通勤・通学利用については、これ以上の増加は見込めないことが予想されている。新たな需要(利用)を開発するためには、昼間居住者の外出行動の実態やニーズ(外出への切実な願いなど)を取り込んだバス交通サービスの充実が求められている。
2. 対応の考え方としては、
  - ①昼間のダイヤを定間隔にして本数を増やす
  - ②昼間居住者用のルートを設定する
  - ③小型の車両で地区内をキメ細かく回る
  - ④行先(起終点)をニーズに合わせて変更するなどが考えられる。
3. 昼間居住者の外出を支援する交通サービスは、路線バス事業の活性化に貢献することに加えて、小平市のコミュニティと経済の活性化、高齢者が元気になることによる福祉サービスコストの低減化などに貢献すると想定できる。

### b. 高齢者などの移動制約者の日常生活を支える足となる交通をつくる

1. 自転車やマイカーに乗れない・乗らない人の移動制約性や、歩ける距離が短くなっている高齢者の移動困難性、タクシー利用の金銭的負担が大きいこと、街(繁華街等)に出かけたいという切実な願いなどの改善・解消に貢献できる交通をつくる。

2. 高齢者などの移動制約者が利用しやすければ、すべての市民がもっと利用しやすくなるというユニバーサルデザインの考え方を取り入れた交通システムをつくる。

**c. 検討機関の設置 ——地域(市民・企業)と交通事業者と行政が連携して公共交通網の整備を進める協議機関(地域公共交通会議)を設ける**

1. 大沼町・花小金井地域内及び小平市内全域について、市民生活を支える公共交通機関としては、民間事業者が運行するバス路線が大きな役割を担っている。
2. バス交通のサービス水準の維持・向上や公共交通の不便な地域を改善・解消すること、交通事業の改善などのためには、地域住民と交通事業者と行政が役割・機能の分担を明確にし、協力し合って進めていく必要がある。
3. また、地域の公共交通を守り成長させていくためには、地域(市民・企業等)が自らのテーマとして考え、積極的に利用するなどの取り組みを行うとともに、それを支える活動の場を設け参画しやすくすることが必要となっている。
4. これらを検討し実現するためには、新しい制度である「地域公共交通会議」を活用して、地域(市民・企業)と交通事業者(バス・タクシー・鉄道)と行政が同じテーブルで定期的に検討・意見交換などを行うことがその第一歩となると考えられる。
5. 地域(市民・企業等)が支える交通としては、NPO法人の運行への参画、企業・事業者等の協賛(広告等)などが考えられる。

### (3) 公共交通の利便性の検討

#### ①大沼町・花小金井地域の日常生活からみた公共交通ニーズ

##### a. アンケート調査等からみた外出・交通ニーズ

###### ■1. 外出目的：買物、通院、駅周辺の順に多い

- 買物が85.3%と最も多く、次いで通院が68.4%、花小金井駅周辺が59.9%、国分寺や新宿等が40.3%である。公共施設の利用は、市役所周辺が33.2%、地域の公民館・地域センター32.1%である(住民アンケート調査/複数回答)。

※市役所周辺：市役所、健康福祉事務センター、福社会館、中央公民館、健康センターなど

###### ■2. 外出先：花小金井駅・小平駅と滝山団地周辺が多い

1. 買物は花小金井駅周辺が43.5%と最も多く、次いで小平駅周辺が27.2%、滝山団地周辺が11.2%である(住民アンケート調査)。
2. 花小金井駅周辺へは当該地域全体から買物に出かけており、増加傾向にある。小平駅周辺へは美園町・大沼町からが多い(住民グループヒヤリング調査)。
3. よく利用する駅は、「花小金井駅」が49.8%と半数近くを占める。「小平駅」は34.0%と、3分の1となっている。居住地別にみると花小金井地域は「花小金井駅」が、大沼町地域では「小平駅」が多い傾向にある(住民アンケート調査)。

###### ■3. 外出の交通手段：「徒歩」と「自転車」と「徒歩と公共交通」が多い

1. 徒歩は55.0%、自転車が43.5%、徒歩とバスは30.0%、徒歩と鉄道32.9%、徒歩とバスと鉄道は28.4%である(住民アンケート調査/複数回答)。
2. 買物などで駅へ行くときの交通手段は、徒歩と自転車が多い(住民グループヒヤリング調査)。

###### ■4. 駅・バス停へ歩ける時間：3分の2の人が15分以内である

1. 5分以内が11.0%、10分以内が19.6%、15分以内が35.3%である。15分以内を合わせると65.9%と3分の2を占めている(住民アンケート調査)。
2. 「バス停まで5分くらいならいいけど、10分歩くのは遠い」(住民グループヒヤリング調査)。

###### ■5. 外出で困っていること：気候や身体的な負担を理由とする回答が上位3番を占める

1. 「雨の日や暑い日などの外出」が75.2%と最も多く、次いで「買物などの荷物が多いとき」が50.7%、「体調の良くない時の外出」が47.5%である(住民アンケート調査)。
2. 「買物した後は、10分も歩くと荷物を置きたくなる」(住民グループヒヤリング調査)。

###### ■6. 自転車利用の問題：危ないと感じるが、やむを得ず乗っている高齢者が多い

1. 「すれ違う自転車を避ける時、よろけてしまう」「小平駅から歩いて登校する錦城高校の生徒は、避けてくれないので困る」(住民グループヒヤリング調査)。
2. 「それしか手段がないから、命がけで乗っている」「自転車に乗ることを止めるにしても、事故を起こさないと決心がつかない」(住民グループヒヤリング調査)。

##### b. データ等に見る公共交通利便性向上ニーズ

1. 駅(小平駅、花小金井駅)から1km以上離れている地区が存在する。
2. 新青梅街道には路線バスが運行する可能性は低い。

3. 路線バスのルートを設定できる道路状況にない、路線バスのバス停まで遠い(500m以上)、道路の横断に制約(信号が少ないなど)があることなどの日常生活の活動に支障をきたしている地区がある。

## ②大沼町・花小金井地域における施策の検討

地域ごとのニーズに基づくコンパクトな生活交通として、新しい交通システム(コミュニティタクシーなど)によるサービス導入の検討が考えられる。

1. 小平市として初めての取組みとなることや事業採算性の確保、需要(利用)の開発などの不確定要素があることから、確実性のある方策を採用して十分な効果を得られるような方法を採用する(小規模な実証運行から成長・発展させるシステムの採用)。
2. 実証運行の検討にあたっては、
  - ①市民(NPO等地域や企業)の参加・支援を図ること
  - ②公平性を考慮すること
  - ③効率性に配慮すること(運賃収入と地域支援と行政支援で運行経費をまかなうなど)などが求められる。

## (4) 公共交通の利便性向上のための施策の検討

### ①路線バスルートの変更・新設による利便性向上

路線バスによるサービス改善・充実のためには、交通事業としての事業採算性の確保、事業者間のサービスエリアの調整、道路管理や交通管理者との協議・調整、道路改良などの新しい問題がある。それらのためには、調整機関の設置や専門家の参画、コストや時間といった課題があり、早急に対応策を策定し実施することは難しいと考えられる。

### ②新しい交通システム「コミュニティタクシー」実証運行による利便性向上

#### a. 新しい交通システム「コミュニティタクシー」実証運行のメリット

1. 路線バスによる対応は相当難しいことから、10人乗りワンボックス車両によって狭い道路を運行し、キメ細かいサービスを行って需要(利用)を開発できる新しい交通システム(コミュニティタクシー)となる。
2. キメ細かなサービスを行うことで、住民の身近な日常生活を支える交通機関と位置づけられることが考えられ、地域が主体性を発揮して運行方法を構築できる。
3. コミュニティタクシーは、地域の交通事業者の参画によって車両代等の初期投資費用やランニングコストの低廉化を図れることに加え、道路改良等が少ないこと、道路・交通管理者との調整もスムーズに行えることなどが考えられる。

#### b. 新しい交通システム「コミュニティタクシー」のシステム・イメージ

##### ■1. 10人乗りワンボックス車両で、最寄の鉄道駅等へアクセスする

1. 道路事情、路線バスと競合しないことなどの条件から、ルートを設定するためには、10人乗り程度のワンボックス車両での運行であれば可能となる。
2. 住民ニーズ調査・アンケート調査等では、鉄道駅周辺へのアクセスを望む意向が大変多かった。駅周辺には、利用頻度の高い商業施設(スーパー、商店など)があり、医院や郵便局等も多く集まっている。
3. 定員10人(乗客は9人)のワンボックス車両であるため、乗り切れないこと(積み残し)がないようなルート設定及び運行方法などの運行システムを開発することが重要となる。

##### ■2. 車両1台で、高いサービス水準と事業採算性を確保できる運行システムとする

1. 住民ニーズ調査では、「利用すると思う」運行本数は、できれば1時間に4本(15分間隔)、少なくともにじバスと同じ1時間に3本という意見が多かった。
2. 小平市の一般財源からの助成には限度があること、NPO法人などの参画もこれからの取り組みとなることなどから、実働車両1台で実証運行を行い、効果や評価を検証する。
3. 効率的な運行や需要(利用)の開発など事業採算性向上の観点から、当該地域の実情に明るく、住民に馴染みのある交通事業者の参画が考えられる。
4. 住民ニーズ(外出への切実な願いなど)を充足するサービス水準を車両1台で確保す

るためには、短い距離と少ない所要時間で運行ルートを設定すること、定時性を確保できるルートの設定などを担保した運行計画の策定が必要となる。

※1. 三鷹市の「みたかバスネット(5.8km、25分)」の表定速度(14km/h)から見ると、20分間隔を確保するためには4 km以内、15分間隔では3 km以内のルート設定が必要である。

※2. 葛飾区の乗合タクシー「さくら(約3km、10～15分)」の運行システムや運営方法、事業者参画などを精査する。表定速度は13～19km/hである。

(表定速度は、バス停での乗降や信号待ち等の時間を含めた平均速度である。)

## (5) 他都市のコミュニティ交通システム事例の調査概要

### ①事例調査の考え方

1. 他都市の先進事例を調査するにあたっては、
  - ①コミュニティタクシー(10人乗りタクシー車両使用)
  - ②NPO等地域主体の運行システムを視点にして行った。
2. コミュニティタクシーについては、全国的にも導入・運行事例は少ないが、できる限り試乗調査を行うこととした。そのため、千代田区、葛飾区及び三鷹市の3例を調査した。
3. NPO等地域主体の運行システムに関しては、コミュニティバスの事例として評価されている取組み、乗合タクシーとして地方圏で評価されている取組みを、資料調査を中心にまとめている。
4. NPO主体の取組み事例は、行動力のある比較的若いリーダーの存在、運行経費負担を含む強力な支援組織の有無などの視点から調査を行っている。
5. 小平市としては、
  - ①10人乗りワンボックスカーを採用して乗りきれない状況(積み残し)が生じていないこと
  - ②NPO法人にはこだわらないが、地域(住民・企業等)が主体的に参画していること
  - ③行政が運行経費の不足額全額を負担するのではなく、負担に上限を設けていること
  - ④運賃収入に加えて、地域(住民・企業等)の協力・協賛(支援、広告等)があることなどを目安にして、実証運行計画策定の参考とする。

②先進都市におけるコミュニティ交通概要一覧

	都市名 名称 運行開始日	特徴	運行のねらい	運行システム							事業方法			利用者数 年・日・ 便	経費及び収入源					利用促進・ PR方策	ポイント
				ルート ・距離 (表定速度)	運行日	運行時 間帯	運行本数	バス停及び 乗降方法	車両(定員)・ 台数	運賃	運営主体	運行事業 者	事業 免許		運賃収入	運行 経費	補助金等 (国・自治 体)	地域協力			
																		協力金 (住民)	協賛金 (企業)		
コミュニティタクシー	千代田区 風ぐるま 1997年4月	区役所を起終 点に公共施設 や駅をつなぐ 循環ルート。	主に高齢者施設 へのアクセス向 上。	3ルート	第2・4日 曜、祝日、 及び年末年 始運休	9-18	①7便 ②8便 ③5便	①41箇所 ②34箇所 ③31箇所 降車フリー	ワンボックス (10人)・5台	100円	千代田区	日立自動 車交通株	4条		区内の他の福祉移送サービスや施設送迎等と 合わせ一括して契約?					高齢者、障害者 などへの乗車証 発行。 (500円/5年間)	
	葛飾区 さくら 1997年11月	千代田線綾瀬 駅と河川や大 型施設に囲ま れた住宅地を 結ぶ循環バ ス。	路線バスの廃止 によって外出手 段がなくなった 住民の足確保の ため。	1ルート 3km (13~19km/h)	毎日	7-19	平日 45便 休日 28便  朝10分間隔 昼30分間隔 夕20分間隔	11箇所 降車フリー	ワンボックス (10人)・2台	大人 200円 子ども 100円	葛飾区	日立自動 車交通株	21条	58,300人/ 年 160人/日	約1千万円	約2,280万円 (国の時間制運 賃基準から算 出)	区が2分の1 約1,000万円	自治会費で 回数券を購 入、各戸に 配布。		車内へのお知ら せ掲示は自由  ・平日の通勤時間は、 10分間隔で運行。 ・駅から住宅地に入る までは、バス停がない ので速達性が確保 されている。	
	三鷹市 みだかバスネット 2007年2月~/ 6ヶ月の試験運 行	杏林病院を起 終点として住 宅地を運行す る小循環。	路線バスへの乗 り継ぎによっ て、駅や目的地 へのアクセス向 上をめざす。	1ルート 5.8km (14km/h)	毎日	9-18	18便 30分間隔	23箇所 停留所のみ	ワンボックス (10人)・1台	100円	三鷹市	宮園自動 車株	21条 (実証 運行)	15人/日程 度		6ヶ月690万円	国が2分の1 (自動車事故 対策費補助 金)			・商業施設や駅などの 外出頻度の多い目的 地へ行っていない。 ・路線バスと重複する 箇所が多い。	
NPO等による 運行事例	三重・四日市 生活バスよっか いち 2003年4月	霞ヶ浦駅から 病院・公共施 設を経て地元 スーパーを結 ぶ往復バス。	路線バス廃止に よる、買物の確 保。  対象人口：17千人	1ルート 8.4km(片道)	月～金 土日運休	8-18	5.5往復 2時間間隔	21箇所 停留所のみ	小型バス(28 人乗)・1台	100円	NPO法人 生活バス 四日市	三重交通 株	4条	22,400人/年 86人/日 16人/便	年120万円 (10万円/月)	1,080万円	市が年360万 円	定期券を 「応援券」 として販売 (持参人式)	スーパー・ 病院等から 8社から 月に50 万円(年 600万円)	利用者や収益状 況をまとめた広 報誌を発行して いる。	・キーパーソン有り。 ・沿線のスーパー1社 が協賛金のうち月30 万円を拠出してい る。運賃収入と合わ せて、運行経費の半 分を賄う。交通事業 者も努力している。
	京都市・醍醐 醍醐コミュニティバス 2004年2月	地下鉄醍醐駅 を中心として 病院・商業施 設・主要バス 停をつなぐ循 環ルート。	路線バスのない 住宅地からの中 心部へのアクセ ス向上。  対象人口：54千人	4ルート	毎日	7-19 <土日> 10-18	①12.5往復 <土日> 8.5往復 ②24往復 ③12.5往復 ④35便 <土日>32便	停留所のみ	マイクロバス (14人乗)と小 型バス(38人) を併用	200円	NPO法人 醍醐にコ ミュニテ ィバスを 走らせる 会	㈱ヤサカ バス	4条	600～700 人/日		なし	個人応援制 度有り 一口3千円	協賛企業 をパートナ ーズと呼 ぶ。負担 額は月 9,000～ 24,000円	・車内ギャラリ ー ・1日乗車券の 発行	・キーパーソン有り。 ・事業者の路線バス参 入の契機	
	神戸市・住吉台 くるくるバス 2005年1月	JR住吉駅と 高台の住宅を 地結ぶ往復ル ート。	高齢化が進んだ 住宅地の交通手 段の確保。 対象人口：4千人 高齢化率：23%	1ルート 4.3km(片道)	毎日	6-21	55往復 15分間隔	11箇所 停留所のみ	小型バス(28 人乗)・3台 (実働2台)	200円	交通事業 者(東灘交 通市民会 議が誘致)	みなと観 光バス株	4条	310千人/年 850人/日 15.4人/便			なし	回数券大人1 ヵ月8,400円 (持参人式)		・会報「くるく るバス通信」 を各戸に配布	・キーパーソン有り。 ・事業者の路線バス参 入の契機
	茨城・土浦市 キララちゃん 2005年3月	土浦駅を起終 点として商業 施設や公共施 設をつなぐ循 環ルート。	中心市街地の活 性化およびバス 利用不便地域の 緩和。	3ルート ①11km ②9km ③11km	毎日	8-19	各ルート15便  45分間隔 右回り、左回 りを交互運行	①25箇所 ②31箇所 ③29箇所 停留所のみ	小型バス(28 人乗)とワン ボックス(10 人)を併用	大人 100円 子ども 50円	NPO法人 まちづく り活性化 バス土浦	関東鉄道/ 土浦地区 タクシー 協同組合	21条		4,000万円/年	市が不足分 支援 1,800～1,900 万円(車両減 価償却費含)	賛助会員(サ ポーター)制 有り 年会費一口 1～3千円	車内ポス ターや音 声案内、 電光掲示 等での広 告可能	・協賛店や市役 所の駐車場を パーク・アン ド・ライド用に 提供 ・地域通貨「キ ララ」の利用 可能	・商工会議所のバック アップ。	
	石巻市・稲井 いらい号 2005年4月	農村地域であ る稲井地区と 石巻駅、日赤 病院等を結ぶ 往復ルート。	廃止代替バスの 廃止にともな う、住民の足の 確保。  人口：6,027人 高齢化率：25%	2ルート	月～土 日・祝日、 年末年始運 休		① <平日>5便 <休日>2便 ② <平日>5便 <休日>3便	稲井地区内 のみフリー 乗降	ワンボックス (10人)・2台  (単価：平日1 台17千円、追 走小型車2千 円)	300～ 700円 距離制	稲井地区 乗合タク シー運行 協議会	(南)三陸タ クシー	21条	<平日> 17千人/年 65人/日 3.3人/便 <休日> 130人/年 25人/日 2.5人/日	年807万円	年1,020万円	欠損額 年112万円	年100万円 (1世帯当り 年間600円)		・定員を超える場合 は、小型タクシーを 追加配車。地元のタ クシー会社のため、 待ち時間が短い。	
岩手・雫石町 あねっこバス 2004年4月	雫石駅から放 射状にルート を設定し、中 心部と農村部 をつなぐ。	廃止代替バスす べての廃止によ る、住民の足の 確保。  人口：1.9万人 高齢化率：25%	6ルート	毎日	7-19 <土日> 8-16	各ルート <平日> 6往復 <土日祝> 3往復	①36箇所 ②34箇所 ③31箇所 ④22箇所 ⑤30箇所 ⑥30箇所 停留所のみ	ワンボックス (10人)4台と 小型タクシー 2台		NPO法人 しずくい しいきい きネット ワーク	(南)雫石タ クシー	21条	29千人/年 <平日> 111人/日 <休日> 28人/日		年3,600万円	町とNPO法人 が事業委託 契約		・町内商店による 予約代行サ ービス有り。 ・予約のない便は運行 しない。 ・予約のない停留所を ショートカット。			

※○で囲んだ数字はルート番号を表す。

平成18(2006)年度  
小平市コミュニティタクシー運行調査  
報告書

平成19(2007)年3月  
小平市 都市開発部 公共交通担当  
〒187-8701 東京都小平市小川町2-1333  
電話 042-346-9554 (直通)